

平成29年度

入学者選抜要項



山形大学
Yamagata University

山形大学は、平成29年4月の学部・学科再編に向けて
文部科学省へ届出設置書類を提出中です。
内容は改組後の予定であり変更する場合があります。

平成29年度 山形大学学部改組(計画中)

【現行】

【募集人員合計 1,685 名】

人文学部	[300 名]
人間文化学科	(100 名)
法経政策学科	(200 名)

地域教育文化学部	[240 名]
地域教育文化学科	
児童教育コース	(80 名)
異文化交流コース	(20 名)
造形芸術コース	(15 名)
音楽芸術コース	(20 名)
スポーツ文化コース	(20 名)
食環境デザインコース	(35 名)
生活環境科学コース	(25 名)
システム情報学コース	(25 名)

理学部	[185 名]
数理科学科	(45 名)
物理学科	(35 名)
物質生命化学科	(45 名)
生物学科	(30 名)
地球環境学科	(30 名)

医学部	[185 名]
医学科	(125 名)
看護学科	(60 名)

工学部	[620 名]
昼間コース	
機能高分子工学科	(110 名)
物質化学工学科	(75 名)
バイオ化学工学科	(60 名)
応用生命システム工学科	(60 名)
情報科学科	(75 名)
電気電子工学科	(75 名)
機械システム工学科	(115 名)
フレックスコース	
システム創成工学科	(50 名)

農学部	[155 名]
食料生命環境学科	(155 名)

【平成29年4月改組予定】

【募集人員合計 1,675 名】

人文社会科学部	[290 名]
人文社会科学科	(290 名)

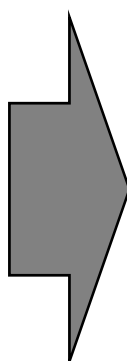
地域教育文化学部	[175 名]
地域教育文化学科	
児童教育コース	(80 名)
文化創生コース	(95 名)

理学部	[210 名]
理学科	(210 名)

医学部	[185 名]
医学科	(125 名)
看護学科	(60 名)

工学部	[650 名]
昼間コース	
高分子・有機材料工学科	(140 名)
化学・バイオ工学科	(140 名)
情報・エレクトロニクス学科	(150 名)
機械システム工学科	(140 名)
建築・デザイン学科	(30 名)
フレックスコース	
システム創成工学科	(50 名)

農学部	[165 名]
食料生命環境学科	(165 名)



山形大学学部改革について【<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/about2017/>】

目 次

I	募集人員等	1
1	募集人員	1
2	入学試験の実施方法	2
3	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	2
II	一般入試	3
1	出願資格	3
2	入学者選抜方法等	3
3	出願受付期間	4
4	合格者の発表	4
5	他大学及び本学学部間の併願	4
6	一般入試（前期日程及び後期日程）の学力検査等入試問題について	4
7	入学者選抜の実施教科・科目等	5
8	地域教育文化学部実技検査科目	14
III	AO入試	16
IV	推薦入試	20
V	社会人入試	32
VI	私費外国人留学生入試	34
	Entrance Examination for Privately Financed International Students	37
VII	各種募集要項等の請求方法	41
VIII	山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	44

東日本大震災又は平成28年熊本地震により被災された 山形大学学部入学志願者の検定料の免除について

山形大学（以下「本学」という。）では、東日本大震災又は平成28年熊本地震（以下「震災等」という。）で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、平成29年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、次のとおり免除の特別措置を講じます。

1 免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する平成29年度学部入学者選抜試験（一般入試、AO入試、推薦入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試を対象。）とします。

2 対象者

平成29年4月に本学の学部に入学者を志願する方で、震災等により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 志願者の学資を主として負担する者が震災等に際して災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された市町村（東京都を除く。）に居住（東日本大震災にあっては平成23年3月11日、平成28年熊本地震にあっては平成28年4月14日において当該市町村に居住していた者を含む。）し、家屋等が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
- (2) 学資負担者が震災等により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が震災等により失職した者
- (4) 福島第一原子力発電所の事故の際に現在の帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域、計画的避難区域に居住していた者

3 本件に関する申請方法等

詳細は、本学ホームページ「入試案内」でご確認願います。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>

お問い合わせ先：山形大学エンrollment・マネジメント部 EM 企画課

TEL：(023) 628-4700

山形大学は、平成29年4月の学部・学科再編に向けて文部科学省へ届出設置書類を提出中です。
内容は改組後の予定であり変更する場合があります。

1 募集人員

学部	学科・コース		募 集 人 員										
			計	一般入試		AO入試			推薦入試		社会人入試	私費外国人留学生入試	
				前期日程	後期日程	I	II	III	I	II			
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	290	55	10	-	-	-	15	-	-	若干人	
		グローバル・スタディーズコース		25	-	-	-	-	20	-	-	-	
		総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース		110	20	-	-	-	35	-	若干人	若干人	
	計		290	190	30	-	-	-	70	-	若干人	若干人	
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	80	55	13	-	-	-	12	-	若干人	若干人	
		文化創生コース	95	(※1)55	(※1)12	(※1)5	-	-	(※1)23	-	若干人	若干人	
	計		175	110	25	5	-	-	35	-	若干人	若干人	
理学部	理学科		210	(※2)136	30	-	-	-	(※2)12	(※2)32	-	若干人	
	計		210	136	30	-	-	-	12	32	-	若干人	
医学部	医学科		125	(※3)85	10	-	-	-	-	30	-	若干人	
	看護学科		60	35	5	-	-	-	20	-	-	若干人	
	計		185	120	15	-	-	-	20	30	-	若干人	
工学部	昼間コース	高分子・有機材料工学科	140	88	10	-	2	5	30	5	-	若干人	
		化学・バイオ工学科	140	(※4)約45	10	-	1	5	9	-	-	若干人	
				バイオ化学工学コース	90	約45	10	-	1	5	9	-	-
		情報・エレクトロニクス学科	150	(※5)約44	10	-	1	5	10	5	-	若干人	
				電気・電子通信コース	88	約44	10	-	1	5	10	5	-
		機械システム工学科		140	88	12	-	2	5	24	9	-	若干人
		建築・デザイン学科		30	17	7	-	1	-	5	-	-	若干人
	計		600	371	69	-	9	30	97	24	-	若干人	
	フレックスコース	システム創成工学科	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-	
		計	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-	
農学部	食料生命環境学科		165	95	30	-	-	-	40	-	-	若干人	
	計		165	95	30	-	-	-	40	-	-	若干人	
合 計			1675	1057	204	10	9	30	279	86	若干人	若干人	

(※) 地域教育文化学部文化創生コースは、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。

○一般入試(前期日程)/55人…「文科系あるいは理科系/17人」,「実技系(美術)/10人」,「実技系(音楽)/14人」,「実技系(スポーツ)/14人」

○一般入試(後期日程)/12人…「文科系あるいは理科系/12人」

○AO入試Ⅰ/5人…「実技系(美術)/1人」,「実技系(音楽)/2人」,「実技系(スポーツ)/2人」

○推薦入試 I / 23 人…「文科系あるいは理科系/6 人」,「実技系(美術)/5 人」,「実技系(音楽)/6 人」,「実技系(スポーツ)/6 人」

(※)理学部理学科は、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。

○一般入試(前期日程) 136 人…「数学分野受験/38 人」,「物理学分野受験/26 人」,「化学分野受験/35 人」,「生物学分野受験/22 人」,「地球科学分野受験/15 人」

○推薦入試Ⅰ/12人…「数学分野受験/7人」,「物理学分野受験/5人」

○推薦入試Ⅱ/32人…「数学分野受験/10人」,「化学分野受験/7人」,「生物学分野受験/5人」,「地球科学分野受験/10人」

(※3) 医学部医学科「一般入試(前期日程)」募集人員 85 人の内訳は、「一般枠」77 人、「地域枠」8 人となります。ただし、「地域枠」合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。なお、「地域枠」志願者は、全員「一般枠」の併願者となります。

(※4) 工学部化学・バイオ工学科「一般入試(前期日程)」募集人員 90 人の内訳は、各コースの志願者からそれぞれ 40 人程度を成績順に合格者とし、残りの 10 人程度を学科の成績順に合格者とします。

(※) 工学部情報・エレクトロニクス学科「一般入試(前期日程)」募集人員 88 人の内訳は、各コースの志願者からそれぞれ 40 人程度を成績順に合格者とし、残りの 8 人程度を学科の成績順に合格者としてします。

(注)1 工学部の「昼間コース」は、昼間に授業を行う課程であり、「フレックスコース」は、主として夜間に授業を行いますが、昼間の授業の履修も可能な課程です。

2 AO入試及び推薦入試において、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。

3 社会人入試の募集人員(若干人)は、前期日程の募集人員の中に含まれます。

次の学部では、一般入試前期日程試験において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置します。

工学部昼間コース(建築・デザイン学科を除く。)及びフレックスコース:名古屋市(JR名古屋駅付近)

農学部:山形市(山形大学小白川キャンパス内)

2 入学試験の実施方法

本学の平成29年度入学者選抜は、一般入試、AO入試、推薦入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試で実施します。
本学は、一般入試において、学科又はコースの入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」による「分離分割方式」で個別学力検査等を実施します。ただし、人文社会科学部人文社会科学科のグローバル・スタディーズコースは、「前期日程」のみで実施します。

3 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は、入学願書の出願受付開始前にエンロールメント・マネジメント部入試課（TEL（023）628-4141）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めに相談してください。

事前相談の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。

区 分	対 象 と な る 者
①視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 ・上記以外の視覚障害者
②聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者
③肢 体 不 自 由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者
④病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤発 達 障 害	・自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者
⑥そ の 他	・①～⑤の区分以外のもので配慮を必要とする者

Ⅱ 一般入試

1 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、平成29年度大学入試センター試験（本学で指定した教科・科目）を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成29年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) ① 平成28年度大学入試センター試験以前の成績は利用しません。

- ② 学校教育法施行規則第150条第7号（個別の入学資格審査）の規定により本学の入学資格の認定を受けようとする者は、エンロールメント・マネジメント部入試課（TEL (023) 628-4141）に連絡してください。

なお、個別の入学資格審査の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。

- ③ 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の成績を用います。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合は、出願資格はありません。

- ④ 出願受付後に次のことが判明した場合は、出願資格が無い者として、受験を認めません。

ア 本学で指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合

イ 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者が、本学で指定した科目を第1解答科目で受験していない場合

<医学部医学科「地域枠」出願要件>

一般入試（前期日程）医学部医学科「地域枠」を受験できる者は、上記に加え、次の①及び②の要件を満たす者です。

- ① 次のいずれかに該当する者

(1) 山形県内の学校を平成27年4月以降に卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者

(2) 県外の学校を平成27年4月以降に卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者で、保護者(注1)が出願時まで引き続き3年以上山形県に居住している者

- ② 卒業後、2年間の医師臨床研修を山形大学医学部附属病院で行った後、山形大学医学部附属病院又は山形県内の公的病院を含む「山形大学関連病院会」に加盟する医療機関(注2)において、6年間、医学・医療に従事することを確約できる者。ただし、これらの期間に含めることができる期間(注3)とこれらの期間に含めることはできないが中断期間として認める期間(注4)があります。

(注1) 山形大学における保護者の定義は、次のとおりとします。（学校教育法第16条から引用）

子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）

(注2) 山形大学蔵王協議会で定められた、山形大学蔵王協議会の構成員となる医療施設

詳しくは次のホームページをご参照ください。

<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kbk/index.html>

(注3) 山形大学大学院医学系研究科に社会人大学院生として在学しながら医学・医療に従事する期間（標準修業年限に限る）

(注4) 次の期間については、中断期間として認めます。

- (1) 各学会が認定する専門医取得に必要な研修を山形県内で行う期間

※各専門医制度が一定の基準で認定した施設で、各専門医制度が定めた条件を満たした指導責任者の管理の下、研修プログラムを行う期間（詳細は各学会のHPを参照）

- (2) 疾病・災害等で医学・医療に従事できない期間

- (3) 産休・育児休業の期間

- (4) 海外留学などの医学研究期間

- (5) その他正当な理由があると認められた期間

2 入学者選抜方法等

大学入試センター試験、個別学力検査等、出身学校長から提出される調査書等を総合して行います。

したがって、志願する学科等の課す大学入試センター試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格となります。

また、入学者の選抜及び合格者の決定は、次の募集単位ごとに行います。

- (1) 人文社会科学部

コース単位で行います。

ただし、総合法律コース、地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として行います。

- (2) 地域教育文化学部

コース単位で行います。

ただし、文化創生コースは、選抜区分単位で行います。

- (3) 理学部

前期日程は、選抜区分単位で行います。後期日程は、学科単位で行います。

- (4) 医学部
学科単位で行います。
なお、医学科の「地域枠」入試においては、大学入試センター試験において710点以上を得た受験者の中から大学入試センター試験、個別学力検査等、出身学校長から提出される調査書等を総合して行います。
- (5) 工学部
学科単位で行います。
ただし、化学・バイオ工学科及び情報・エレクトロニクス学科は、コース単位で行います。
- (6) 農学部
学科単位で行います。

3 出願受付期間

平成29年1月23日（月）から平成29年2月1日（水）まで（土・日曜日を除きます。）

持参の場合：平成29年2月1日（水）まで必着とします。

郵送の場合：平成29年1月31日（火）までの消印のある「書留速達」のみ、2月2日（木）以降でも受け付けます。

4 合格者の発表

前 期 日 程	平成29年3月7日（火）11時
後 期 日 程	平成29年3月21日（火）16時

5 他大学及び本学学部間の併願

志願者は、国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）「前期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から1つ、合計2つまでの大学・学部に出願し、受験することができます。

したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。

なお、本学の学部間においても、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの学部又は同一学部の学科・コースに併願することができます。

また、その場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めなければなりません。

6 一般入試（前期日程及び後期日程）の学力検査等入試問題について

- 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」の参加大学及び提供大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。
- 上記(1)により本宣言の対象となる入試過去問題について、本学では、一般入試の小論文も対象とします。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入学試験終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学等の一覧は、次のホームページで公表しています。

<http://nyushikakomon.jp/>

地域教育文化学部

学部・学科等名等 及び募集人員等			学力検査 等の区分 ・日程	選抜 区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個 別 学 力 検 査 等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の 選抜方法等					
学 部	学 科	等 名 等 員 等			教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国 語	地 理	公 民	数 学	理 科	外国語	実 技	小論文	面 接	配点 合計				
地域教育文化学部 前期 110 後期 25 その他 40	地域教育文化学科 前期 110 後期 25 その他 40	児童教育コース	前期 2月25日	—	国・地理・公民・数・理	国・世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫・政経, 倫・政経 教Ⅰ・教Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ・教Ⅱ・教Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ 小論文	センター試験	200	*100	*100	200	100	200				800	推薦 社会人 外国人			
		後期 3月12日	その他			面接	計	200	*100	*100	200	100	400		200		1200	追加合格					
		文化創造コース	前期 2月25日・26日	文科系 あるいは 理科系 2月25日	国・地理・公民・数・理・外	国・世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫・政経, 倫・政経 教Ⅰ・教Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ・教Ⅱ・教Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	理・外	化基・化 生基・生 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ から1	センター試験	200	*100	*100	200	100	200				800	推薦 AO 社会人 外国人			
			後期 12月28日			その他	個別学力検査	計	200	*100	*100	200	100又は200 200又は400					100	100	200	追加合格		
			実技系 (美術) 2月26日		国・地理・公民・数・理・外	国・世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫・政経, 倫・政経から1 教Ⅰ・教Ⅰ・教A, 教Ⅱ 教Ⅱ・教B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (4教科4科目又は4教科5科目)	その他	実技検査(注)	センター試験	200	*200	*200	*200	200					800				
							個別学力検査	800															
							計	200	*200	*200	*200	*200	200	800								1600	
							センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200									600	
			実技系 (音楽) 2月25日・26日		国・地理・公民・数・理・外	国・世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫・政経, 倫・政経 教Ⅰ・教Ⅰ・教A, 教Ⅱ, 教Ⅱ・教B, 簿, 情報 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (3教科3科目又は4教科4科目)	その他	実技検査(注)	センター試験	200	*200	*200	*200	200					800				
							個別学力検査	800															
							計	200	*200	*200	*200	*200	200	800								1400	
							センター試験	200	*100	*100	*100	100	200									700	
			実技系 (スポーツ) 2月25日		国・地理・公民・数・理・外	国・世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫・政経, 倫・政経 教Ⅰ・教Ⅰ・教A, 教Ⅱ・教Ⅱ・教B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	実技検査(注)	センター試験	200	*100	*100	*100	100	200				300				
							個別学力検査	300															
							計	200	*100	*100	*100	100	200									1000	
							センター試験	200	*100	*100	*100	100	200										

理学部

学部・学科等名 及び募集人員等		学力検査 等の区分 ・日程	選抜 区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等		
理学部	理学科	前期 2月25日	数学分野 受験	国 地理 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注1)	センター試験	200	*100	*100	*100	200	100	200				800	推薦 外国人 追加合格
前期 136 後期 30 その他 44								個別学力検査						400					400	
							計		200	*100	*100	*100	600	100	200				1200	
			物理学分 野受験	国 地理 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①化基, 生基, 地学基から2 ②物 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科7科目又は5教科8科目) <th>数 理</th> <th>数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注2) 物基・物</th> <th>センター試験</th> <th>200</th> <th>*100</th> <th>*100</th> <th>*100</th> <th>200</th> <th>200</th> <th>200</th> <td></td> <td></td> <td></td> <th>900</th>	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注2) 物基・物	センター試験	200	*100	*100	*100	200	200	200				900	
								個別学力検査					200 <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>500</th>	300					500	
							計		200 <td>*100<td>*100<td>*100<td>400<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1400</th></td></td></td></td></td>	*100 <td>*100<td>*100<td>400<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1400</th></td></td></td></td>	*100 <td>*100<td>400<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1400</th></td></td></td>	*100 <td>400<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1400</th></td></td>	400 <td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1400</th></td>	500 <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>1400</th>	200				1400	
			化学分野 受験	国 地理 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 生基, 地学基から2 ②化 物, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科7科目又は5教科8科目) <th>理</th> <th>化基・化</th> <th>センター試験</th> <th>200</th> <th>*100</th> <th>*100</th> <th>*100</th> <th>200</th> <th>200</th> <th>200</th> <td></td> <td></td> <td></td> <th>900</th>	理	化基・化	センター試験	200	*100	*100	*100	200	200	200				900	
								個別学力検査						600					600	
							計		200 <td>*100<td>*100<td>*100<td>200<td>800<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1500</th></td></td></td></td></td>	*100 <td>*100<td>*100<td>200<td>800<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1500</th></td></td></td></td>	*100 <td>*100<td>200<td>800<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1500</th></td></td></td>	*100 <td>200<td>800<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1500</th></td></td>	200 <td>800<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1500</th></td>	800 <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>1500</th>	200				1500	
			生物学分 野受験	国 地理 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 地学基から2 ②生 物, 化, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科7科目又は5教科8科目) <th>理</th> <th>生基・生</th> <th>センター試験</th> <th>200</th> <th>*100</th> <th>*100</th> <th>*100</th> <th>200</th> <th>200</th> <th>200</th> <td></td> <td></td> <td></td> <th>900</th>	理	生基・生	センター試験	200	*100	*100	*100	200	200	200				900	
								個別学力検査						300					300	
							計		200 <td>*100<td>*100<td>*100<td>200<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1200</th></td></td></td></td></td>	*100 <td>*100<td>*100<td>200<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1200</th></td></td></td></td>	*100 <td>*100<td>200<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1200</th></td></td></td>	*100 <td>200<td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1200</th></td></td>	200 <td>500<td>200</td><td></td><td></td><td></td><th>1200</th></td>	500 <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>1200</th>	200				1200	

学部・学科等名 及び募集人員等		学力検査 等の区分 ・日程	選抜 区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等			
理学部 前期 136 後期 30 その他 44	理学科 前期 136 後期 30 その他 44	前期 2月25日	地球科学 分野受験	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点 合計	推薦 外国人 追加合格		
				国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 物, 化, 生, 地学から1 *同一名称の付く科目の選択は認めない。 ②物, 化, 生, 地学から2 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他	小論文(科学的内容の文章を与え, 内容の理 解力を問います。資料や設問の一部 を英語で出題する場合があります。)	センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900			
							個別学力検査								400					400	
							計	200	*100	*100	200	200	200		400					1300	
		後期	—	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 物, 化, 生, 地学から1 *同一名称の付く科目の選択は認めない。 ②物, 化, 生, 地学から2 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	個別学力検査は課しません。		センター試験	200	*100	*100	400	400	400				1500	推薦 外国人 追加合格		
						個別学力検査															
						計	200	*100	*100	400	400	400						1500			

【選抜方法】

前期日程の選抜方法は、次のとおりとします。

A：大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績の合計の高得点順

B：個別学力検査等の成績の合計の高得点順

○数学分野受験，生物学分野受験及び地球科学分野受験においては，Aの選抜方法によって選抜します。

○物理学分野受験においては，募集人員 26 人のうち，はじめにBの選抜方法によって6人を選抜し，残りをAの選抜方法によって選抜します。

○化学分野受験においては，募集人員 35 人のうち，はじめにBの選抜方法によって 10 人を選抜し，残りをAの選抜方法によって選抜します。

後期日程の選抜方法は，大学入学センター試験の成績の合計の高得点順で選抜します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

2 「地理歴史」及び「公民」について，2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を用います。

3 数学分野受験において，「理科」について，「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を用います。

4 数学分野受験において，「理科」について，「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計）を用います。

5 「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。

【個別学力検査等】欄

（注1）数学Bは，「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

（注2）数学Aは，「場合の数と確率」，「図形の性質」，数学Bは，「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

1 配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。

2 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を前期日程は 200 点満点に，後期日程は 400 点満点に換算します。

医学部

学部・学科等名及び募集人員等			学力検査等の区分・日程		大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等				大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
医学部	医学科	前期 2月25日・26日	一般枠	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 教Ⅰ・教A 教Ⅱ・教B	国 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 教Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ・教Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏から1 (5教科7科目)	教科等 数 理 外 その他	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点 合計	推薦 外国人 追加合格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																						地域枠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
			後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日		後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日	後期 3月12日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
看護学科	前期 35 後期 5 その他 20	前期 2月25日・26日	前期 2月25日・26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 教Ⅰ・教Aから1 教Ⅱ・教Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	外 その他	国語総合(注1)・現代文B 教Ⅰ・教Ⅱ・教Ⅲ・教A・教B(注2) 物基・物, 化基・化, 生基・生から2 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ 面接	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	*100 *100 *100	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 20

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 「地理歴史」及び「公民」並びに理科の基礎を付けない科目について、2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 「地理歴史」及び「公民」並びに理科の基礎を付けない科目について、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 看護学科において、理科について、「基礎を付けない科目」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 看護学科において、理科について、「基礎を付けない科目」2科目及び「基礎を付けない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績(「基礎を付けた科目」の場合は2科目の合計)を用います。

【個別学力検査】欄

- 医学科前期日程において、第1段階選抜を実施する場合は、「一般枠」と「地域枠」を一括して行います。
- (注1) 国語総合は、「近代以降の文章」を出題範囲とします。
- (注2) 数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがあります。
 - 配点に※印を付してある教科は選抜教科を表します。
 - 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は、配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
- ※1 面接については、総合判定の資料とします。
- ※2 面接の評価は、調査書等の評価を含みます。

【調査書について】

高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階に属し、人物・学力とくに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊸と標示することを希望します。

なお、この場合には、調査書の「備考」の欄にその理由を明示してください。

また、㊸標示を総合判定の資料としても使用します。

【選抜方法】(地域枠)

- 「地域枠」志願者は、全員「一般枠」(併願者)となります。
- 希望により「一般枠」の総合判定基準による選抜(一般枠での選抜)を優先させることができます。
- 「一般枠」優先を希望する場合は選抜方法について
 - 「一般枠」に組み入れて総合判定を実施します。その際、配点については、「面接」分を除いた「一般枠」の配点(1,500点満点)を用いることとします。
 - 「一般枠」の合格者とならなかった場合は、「地域枠」の合格者となります。
 - 「一般枠」の合格者とならなかった場合は、「地域枠」での総合判定を実施します。その際、配点については、「面接」分が入った配点(1,600点満点)を用いることとします。3(1)と合わせて総合判定した結果、募集人員内にあると判定された場合は「地域枠」の合格者となります。
 - 「一般枠」優先を希望しない場合の選抜方法について
 - 「地域枠」の総合判定を実施します。2(2)と合わせて総合判定した結果、募集人員内にあると判定された場合は「地域枠」の合格者となります。
 - (1)の結果、「地域枠」の合格者とならなかった場合は、「一般枠」に組み入れて総合判定を実施します。その際、配点については、「地域枠」の「面接」分を除いた配点(1,500点満点)を用いることとします。総合判定した結果、募集人員内にあると判定された場合は「一般枠」の合格者となります。

工学部

学部・学科等名及び募集人員等			学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							その他の選抜方法等		
				教科	科目名	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点合計	
工学部 星間コース 前期 371 後期 69 その他 160	高分子・有機材料工学科 前期 88 後期 10 その他 42	前期 約45 後期 10 その他 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 物基・物, 化基・化から1	センター試験 個別学力検査	100	*100	*100	300	300	200				1000 AO 外国人 追加合格	
			後期	理 外	(5教科7科目)	個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				900	
			前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	理	物基・物, 化基・化, 生基・生から1	センター試験 個別学力検査	100	*100	*100	300	300	200				1000 AO 外国人 追加合格	
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	300	300	200				400	1400	
化学・バイオ工学科	応用化学・化学工学コース 前期 約45 後期 10 その他 15	前期 約45 後期 10 その他 15	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	理	物基・物, 化基・化, 生基・生から1	センター試験 個別学力検査	100	*100	*100	300	300	200				1000 AO 外国人 追加合格	
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				400	1400	
			前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200			900		
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				900		
情報・エレクトロニクス学科	情報・知能コース 前期 約44 後期 10 その他 21	前期 約44 後期 10 その他 21	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 物基・物, 化基・化から1	センター試験 個別学力検査	100	*100	*100	300	300	200				1000 AO 外国人 追加合格	
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				800	1800	
			前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200			900		
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				900		
電気・電子通信コース	電気・電子通信コース 前期 約44 後期 10 その他 21	前期 約44 後期 10 その他 21	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 物基・物, 化基・化から1	センター試験 個別学力検査	100	*100	*100	300	300	200				1000 AO 外国人 追加合格	
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				800	1800	
			前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200			900		
			後期		個別学力検査は課しません。		計	200	*100	*100	200	200	200				900		

学部・学科等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の選抜方法等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点合計	
工学部 昼間 コース 前期 88 後期 7 その他 40 前期 371 後期 69 その他 160	機械システム工学科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 物基・物, 化基・化から1	センター試験	100	*100	*100	300	300	200				1000	推薦 AO 外国人
							個別学力検査				400	400					800	
		後期	理 外	(5教科7科目)			計	100	*100	*100	700	700	200				1800	追加合格
							センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
工学部 プレックス コース 前期 17 後期 7 その他 6	建築・デザイン学科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	面接(口頭試験を含みます。)	センター試験	200	*100	*100	200	100	200				800	推薦 AO 外国人
		後期	理 外				個別学力検査									200	200	200
							計	200	*100	*100	200	100	200			200	1000	追加合格
							センター試験	200	*100	*100	200	100	200				800	
工学部 フレックス コース 前期 35 後期 5 その他 10	システム創成工学科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英(リスニングを含みます。)	数 理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 物基・物, 化基・化から1 面接(口頭試験を含みます。)	センター試験	100	*100	*100	300	300	200				1000	推薦 AO 社会人
							個別学力検査				400	400				※	800	
		後期	理 外	(5教科7科目)			計	100	*100	*100	700	700	200				1800	追加合格
							センター試験	200	*100	*100	200	200	200				900	
		後期					個別学力検査											
							計	200	*100	*100	200	200	200				900	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の基礎を付していない科目について、2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 2 「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績をいいます。
- 3 「数学」について、「確記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。
- 4 建築・デザイン学科において、「理科」について、「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績をいいます。
- 5 建築・デザイン学科において、「理科」について、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績(「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計)を用います。

【個別学力検査等】欄

(注) 数学Aは、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 1 配点に※印を付してある教科は選択教科を表します。
- 2 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について、配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。

※ 面接については、総合判定の資料とします。

農学部

学部・学科等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の選抜方法等			
農学部	食料生命環境学科		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点合計	推薦 外国人 追加合格		
前期 95	前期	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理	国 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Ⅱから1 数Ⅱ・数Ⅲ・数B, 簿, 情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 物, 化, 生, 地学から1 *同一名称の付く科目の選択は認めない。 ②物, 化, 生, 地学から2 英(リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓 から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(注) 化基・化 生基・生	センター試験 個別学力検査	200	*100	*100	200	200	200				900			
後期 30	後期										*300	*300								300
その他 40	その他										計	200	*100	*100	*100	200又は300又は350	200			
		後期			個別学力検査は課しません。		センター試験 個別学力検査	200	*100	*100	200	200	200				900			
			外				計	200	*100	*100	200	200	200				900			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 1 「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」とし、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の成績を用います。
2 「数学」について、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。

【個別学力検査等】欄

(注) 数学Bは、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 1 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
2 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は、筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。

8 地域教育文化学部実技検査科目

地域教育文化学科
文化創生コース

選抜区分	検 査 科 目
実技系（美術）	実技－基礎造形（素描・基礎デザイン） （注）次のものを当日各自持参してください。 ポスターカラー（12色）又はアクリル絵の具（12色）、筆、鉛筆、パレット又は絵の具皿、筆洗器（水入れ）、消しゴム、直定規及び三角定規、コンパス、ハサミ、カッターナイフ
実技系（音楽）	I 共通科目（全員が受験してください。） 1 視唱：コールユーブンゲン第1巻（原書No.48からNo.87まで）の中の1曲を当日指定します。 （注）固定ド唱法、移動ド唱法のいずれかで、繰り返しを省き歌ってください。 2 聴音：12小節前後の2声（ソプラノとバスのみ）の書き取りをします。 3 楽典：楽語、音程、近親調及び既存の楽曲の調性判断と簡単な和音分析を問います。 II 基礎科目（出願時に届けた専攻により受験してください。なお、楽譜を見て演奏してもかまいません。） 1 声楽専攻・アンサンブル（管弦打楽器）専攻・作曲専攻 ピアノ：次の a）、b）のいずれかを選択し、任意の1曲を演奏してください。 J.S.バッハ： a) インヴェンション b) シンフォニア （注）a）、b）は繰り返しを省き演奏してください。 2 ピアノ専攻 声楽：次の曲の中から当日指定する1曲を演奏してください。 コンコーネ 50番から第19、21、25、28、29番 （注）高声用、中声用又は低声用を使用し、母音で歌ってください。 III 専攻科目（出願時に届けた専攻により受験してください。） 1 声楽専攻 ア) 課題曲：次の a)～h)の曲の中から任意の1曲を選択し、演奏してください。 a) A.Caldara : Sebben, crudele b) A.Scarlatti : Già il sole dal Gange c) A.Scarlatti : Son tutta duolo d) F.Gasparini : Lasciar d'amarti e) G.B.Pergolesi : Nina f) S.Rosa : Star vicino g) 山田耕筰 : かやの木山の h) 山田耕筰 : この道 イ) 自由曲：上記の課題曲を除く任意の1曲を演奏してください。 （注）① ア)及びイ)の伴奏用楽譜各1部を出願の際に提出してください。 ② ア)及びイ)の原語により、暗譜で演奏してください。 2 ピアノ専攻 ア) 次の曲の中から任意の1曲を選択し、演奏してください。 J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より任意のフーガ イ) モーツァルト：ピアノ・ソナタ ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ（Op.49-1と2、Op.79を除きます。）より 任意の楽章を1つ演奏してください。ただし、緩徐楽章を除きます。 （注）① ア)及びイ)は暗譜で、繰り返しを省き演奏してください。 ② 時間の関係上、途中で切ることがあります。 3 アンサンブル（管弦打楽器）専攻 （1）管楽器：次の楽器 A～Gより1つ選び、ア）、イ)の順序で演奏してください。 ア) 以下の各楽器の課題より、当日指定する1曲。 イ) 3分以上の任意の独奏曲又は練習曲。 A フルーツ ケラー：フルートのための35の練習曲 作品33（カール・フィッシャー版）第1巻 15の練習曲から5、8、15番 B オーボエ ヴィーデマン：オーボエのための45の練習曲（ブライトコプフ版）から3、11、30番 C クラリネット ローズ：32の練習曲（リュデュック版）から4、9、26番 D ファゴット（バスーン） ヴァイセンボーン：ファゴット教則本（ペーター版）第1巻Ⅲから8、19、23番

選抜区分	検 査 科 目
実 技 系 （ 音 楽 ）	E ホルン マキシム・アルフォンス：新しい200のホルン練習曲（リュデュック版）第1巻から 5, 14, 20番 F トランペット コーブラッシュ：60の練習曲（リュデュック版，カール・フィッシャー版）第1巻から 8, 24, 28番 G トロンボーン コーブラッシュ：60の練習曲（リュデュック版，カール・フィッシャー版）第1巻から 8, 17, 26番 (2) 弦楽器：次の楽器A～Dより1つ選び，ア)，イ)の順序で演奏してください。 ア) 以下の各楽器の課題より，当日指定する1曲。 イ) 3分以上の任意の独奏曲又は練習曲。 A ヴァイオリン クロイツェル：42の練習曲（IMC版）から14, 20, 30番 B ヴィオラ クロイツェル：42の練習曲（IMC版）から14, 20, 30番 C チェロ ドッツァウアー：チェロ教本（音楽之友社）から14, 17, 19番 D コントラバス シマンドル：30の練習曲（カール・フィッシャー版）から7, 8, 10番 (3) 打楽器：次のア)，イ)の順序で演奏してください。 ア) 次の曲中，当日指定する1曲を演奏してください。 網代景介，岡田知之：小太鼓100曲集（共同音楽出版）から24, 32, 46番 イ) 3分以上の任意の独奏曲又は練習曲1曲を演奏してください。 (注) ① 受験楽器名は出願時に届け，演奏楽器は各自持参してください。ただし，打楽器の練習台は大学 備え付けのものを使用してください。コントラバス及びマリimbaは大学備え付けの楽器を使用して もかまいません。 ② 試験は無伴奏で行います。アンサンブル専攻における任意の曲は暗譜とし，課題曲は楽譜を見て 演奏してもかまいません。いずれも繰り返しを省き演奏してください。 ③ 時間の関係上，途中で切ることがあります。 4 作曲専攻 ア) 機能と声に基づく，非和声，転調を含む和声のソプラノ・バス課題を課します。（所要時間120分） イ) 出願の際に提出した作品についての質問を行います。なお，質問については，ア)の筆記試験終了 後に行います。 (注) ① 出願前2年以内に志願者本人が作曲した作品3点（習作も含みます。）の手書きによる楽譜のコピ ーを出願の際に提出してください。 ② 作品の種類，編成，演奏時間の長さは問いません。
実 技 系 （ ス ポ ー ツ ）	実技検査は，以下の1～4のうち2つを選択してください。 1 球 技 （バレーボール，サッカー，バスケットボールから1種目を選択してください。） 2 陸上競技 （ハードル走と走り高跳びの2種目を行います。） 3 器械運動 （マット運動と鉄棒運動の2種目を行います。） 4 武 道 （剣道） なお，受験者は全員運動着と屋内用シューズを持参してください。また，剣道の用具は大学で準備しますが， 個人で持参してもかまいません。

Ⅲ A O入試

地域教育文化学部

A O入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さないA O入試）

実施学科・コース名	地域教育文化学科文化創生コース						
募 集 人 員	実技系（美術） … 1人 実技系（音楽） … 2人 実技系（スポーツ） … 2人						
出 願 要 件	次のすべての要件を満たす者 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成29年3月に卒業見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者						
選 抜 方 法 等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>科 目 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次選抜</td><td>書類選抜</td></tr> <tr> <td>第2次選抜</td><td>面接（口頭試問を含みます。） 実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）</td></tr> </tbody> </table> 第1次選抜：志望理由書及び自己PR書に加えて、調査書を総合して選抜します。 第2次選抜：第1次選抜合格者に対して、面接及び実技検査により選抜します。 ※面接、実技検査会場は、基本的に第1次選抜合格者の在籍する学校あるいはその近隣の施設等とします。	区 分	科 目 等	第1次選抜	書類選抜	第2次選抜	面接（口頭試問を含みます。） 実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）
区 分	科 目 等						
第1次選抜	書類選抜						
第2次選抜	面接（口頭試問を含みます。） 実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）						
出 願 期 間	平成28年9月20日（火）から9月23日（金）まで 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、9月23日（金）まで必着とします。						
選 抜 期 日	第1次選抜：書類選抜のため選抜期日はなし 第2次選抜：平成28年10月8日（土）から10月10日（月）までの期間の大学が指定する1日 （面接担当者が訪問します。）						
合 格 発 表 日	第1次選抜：平成28年10月1日（土） 第2次選抜：平成28年10月25日（火）						
そ の 他	・A O入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試及び推薦入試に出願することができます。 なお、大学入試センター試験を課す入試を受験する場合は、大学入試センター試験を受験する必要があります。						

工学部フレックスコース

ＡＯ入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さないＡＯ入試）

実 施 学 科 名	システム創成工学科						
募 集 人 員	５人						
出 願 要 件	次のすべての要件を満たす者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年３月卒業見込みの者又は高等専門学校の第３学年を平成29年３月修了見込みの者 (2) 合格した場合、入学することを確約できる者						
選 抜 方 法 等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>科 目 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第１次選抜</td><td>書類選抜</td></tr> <tr> <td>第２次選抜</td><td>面接（口頭試問を含みます。）</td></tr> </tbody> </table> 第１次選抜：志望理由書及び自己ＰＲ書に加えて、調査書を総合して選抜します。 第２次選抜：第１次選抜合格者に対して、面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。 ※面接会場は、基本的に第１次選抜合格者の在籍する学校あるいはその近隣の施設等とします。	区 分	科 目 等	第１次選抜	書類選抜	第２次選抜	面接（口頭試問を含みます。）
区 分	科 目 等						
第１次選抜	書類選抜						
第２次選抜	面接（口頭試問を含みます。）						
出 願 期 間	平成28年８月10日（水）から８月19日（金）まで （※持参の場合のみ、８月17日（水）から８月19日（金）まで） 受付時間は、９時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、８月19日（金）まで必着とします。						
選 抜 期 日	第１次選抜：書類選抜のため選抜期日はなし 第２次選抜：平成28年９月26日（月）から９月29日（木）までの期間の大学が指定する１日（面接担当者が訪問します。）						
合 格 発 表 日	第１次選抜：平成28年８月31日（水） 第２次選抜：平成28年10月６日（木）						
そ の 他	- 本学部ＡＯ入試Ⅱと同時に出席することはできません。 - ＡＯ入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試及び推薦入試に出席することができません。 なお、大学入試センター試験を課す入試を受験する場合は、大学入試センター試験を受験する必要があります。 - 高等学校又は高等専門学校における調査書の学習成績概評がＡ段階（全体の評定平均値が4.3以上）に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。 また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。						

工学部昼間コース

ＡＯ入試Ⅱ（大学入試センター試験を課さないＡＯ入試）

実施学科・コース名	高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科 建築・デザイン学科 応用化学・化学工学コース バイオ化学工学コース 情報・知能コース 電気・電子通信コース						
募集人員	高分子・有機材料工学科 … 2人 化学・バイオ工学科 … 1人 情報・エレクトロニクス学科 … 1人 機械システム工学科 … 2人 建築・デザイン学科 … 1人 応用化学・化学工学コース … 1人 バイオ化学工学コース … 1人 情報・知能コース … 1人 電気・電子通信コース … 1人						
出願要件	次のすべての要件を満たす者 (1) 8月5日（金）に開催されるＡＯ入試Ⅱ説明会に出席し、エントリー（仮登録）を行った者 (2) 山形県内の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者又は山形県内の高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者 (3) 山形県内に就職を希望する者 (4) 合格した場合、入学することを確約できる者						
選抜方法等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>科 目 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次選抜</td><td>レポート（※）</td></tr> <tr> <td>第2次選抜</td><td>面接（口頭試問を含みます。）</td></tr> </tbody> </table> ※課題は、試験当日に与えます。 第1次選抜：レポートの結果に加えて、調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して選抜します。 第2次選抜：第1次選抜合格者に対して、面接（口頭試問を含みます。）の結果と第1次選抜の結果を総合して選抜します。	区 分	科 目 等	第1次選抜	レポート（※）	第2次選抜	面接（口頭試問を含みます。）
区 分	科 目 等						
第1次選抜	レポート（※）						
第2次選抜	面接（口頭試問を含みます。）						
出願期間	平成28年8月10日（水）から8月19日（金）まで （※持参の場合のみ、8月17日（水）から8月19日（金）まで） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、8月19日（金）まで必着とします。						
選抜期日	第1次選抜：平成28年8月26日（金） 第2次選抜：平成28年10月1日（土）						
合格発表日	第1次選抜：平成28年8月31日（水） 第2次選抜：平成28年10月6日（木）						
その他	- 工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16 - 本学部ＡＯ入試Ⅰと同時に出願することはできません。 - ＡＯ入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試及び推薦入試に出願することができます。 なお、大学入試センター試験を課す入試を受験する場合は、大学入試センター試験を受験する必要があります。						

工学部昼間コース

ＡＯ入試Ⅲ（大学入試センター試験を課すＡＯ入試）

実施学科・コース名	高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	応用化学・化学工学コース バイオ化学工学コース 情報・知能コース 電気・電子通信コース														
募 集 人 員	高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	… 5人 … 5人 … 5人 … 5人 … 5人														
出 願 要 件	次のすべての要件を満たす者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者((注)1) (2) 平成29年度大学入試センター試験(本学科が指定した教科・科目)を受験する者((注)2) (3) 合格した場合、入学することを確約できる者 (注)1 次のいずれかに該当する者を含みます。 ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者 2 平成28年度大学入試センター試験以前の成績は利用しません。															
選 抜 方 法 等	<table><tr><td>区 分</td><td colspan="2">科 目 等</td></tr><tr><td>第1次選抜</td><td colspan="2">面接（口頭試問を含みます。）</td></tr></table> 面接（口頭試問を含みます。）では、調査書、志望理由書及び自己PR書を参考にします。 <table><tr><th rowspan="2">学 科</th><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教科</th><th>科 目 名</th></tr><tr><td>高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科</td><td>数 理 外</td><td>数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から1 英（リスニングを含みます。） (3教科4科目)</td></tr></table> (注) 大学入試センター試験の「数学」について、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。 ※最終合格者となるには、大学入試センター試験の得点合計が、概ね合格基準点以上であることが必要です。 したがって、第1次選抜合格者のうち、指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合は、不合格となります。		区 分	科 目 等		第1次選抜	面接（口頭試問を含みます。）		学 科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科	科 目 名	高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	数 理 外	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から1 英（リスニングを含みます。） (3教科4科目)
区 分	科 目 等															
第1次選抜	面接（口頭試問を含みます。）															
学 科	大学入試センター試験の利用教科・科目名															
	教科	科 目 名														
高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	数 理 外	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から1 英（リスニングを含みます。） (3教科4科目)														
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。															
選 抜 期 日	第1次選抜：平成28年11月12日（土）・13日（日）（大学が指定するいずれかの日）															
合 格 発 表 日	第1次選抜：平成28年11月25日（金） 最終合格者：平成29年2月6日（月）															
そ の 他	・工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16 ・本学部推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）と同時に出願することはできません。 ・AO入試Ⅲの第1次選抜に合格した者は、本学が実施する推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）に出願することはできません。 ・AO入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試及び推薦入試に出願することができません。															

Ⅳ 推薦入試

人文社会科学部

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実施学科・コース名		人文社会科学科 人間文化コース グローバル・スタディーズコース 総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース
募 集 人 員		人間文化コース … 15人 グローバル・スタディーズコース … 20人 総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース … 35人
出 願 要 件	人間文化コース	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者で，次の要件をすべて満たし，学校長が責任をもって推薦できる者。ただし，学校長が推薦できる人数は，1校につき2人以内とします。 (1) 人間文化コースで扱う学問分野のいずれかに強い関心を持っている者 (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (3) 合格した場合は，入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
	グローバル・スタディーズコース	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者で，次の要件をすべて満たし，学校長が責任をもって推薦できる者。ただし，学校長が推薦できる人数は，1校につき2人以内とします。 (1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 国際社会，異文化理解，外国語について深い関心がある者 (5) 合格した場合は，入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
	総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者で，次の要件をすべて満たし，学校長が責任をもって推薦できる者。ただし，学校長が推薦できる人数は，1校につき2人以内とします。 (1) 総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 社会について深い関心がある者 (5) 個性的で活力がある者 (6) 合格した場合は，入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
選 抜 方 法 等	人間文化コース	(1) 推薦書，調査書，志望理由書の審査に加え，面接を実施します。 (2) 面接では，人間文化コースで扱う学問分野に関連して自分でテーマを選び，そのテーマについて，考えたり調べたりした具体的な成果を，A4用紙1枚にまとめた説明資料（試験当日持参，面接時に提出）にもとづいて，5分程度話してもらい，主としてそれをもとにした質疑応答を行います。質疑応答では，論理的思考力，勉強意欲と問題意識，発表力，本コースでの修学に必要な基礎的能力等をみます。
	グローバル・スタディーズコース	推薦書，調査書，志望理由書及び面接により選抜します。面接では志望理由書に基づき質疑応答を行います。
	総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース	推薦書，調査書，志望理由書，読書感想文及び面接により選抜します。
出 願 期 間		平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は，9時から16時30分までとします。 なお，郵送の場合も，11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日		平成28年11月16日（水）・17日（木）（大学が指定するいずれかの日）
合 格 発 表 日		平成28年11月25日（金）
そ の 他		・ 人文社会科学部試験場 山形市小白川町一丁目4-12 ・ 推薦入試で不合格となった場合は，国公立大学の一般入試に出願することができます。なお，この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。

地域教育文化学部

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実施学科・コース名		地域教育文化学科	児童教育コース 文化創生コース
募 集 人 員		児童教育コース 文化創生コース	… 12人 文科系あるいは理科系 … 6人 実技系（美術） … 5人 実技系（音楽） … 6人 実技系（スポーツ） … 6人
出 願 要 件	児童教育コース	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、（2）に記載のとおりとします。 （1）教職に就くことを強く希望する者 （2）次の①又は②のいずれかに該当し、特に児童教育コースでの勉学を強く希望する者 ① 調査書の全体の評定平均値が4.0以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀な者。学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 ② 調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、数学及び理科について、数学Ⅲ、物理、化学、生物及び地学（理数科にあっては、理数数学Ⅱ、理数物理、理数化学、理数生物及び理数地学）の科目の中から2科目以上を履修した者又は履修見込みの者。学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。	
	文化創生コース （文科系あるいは理科系）	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 （1）調査書の全体の評定平均値が4.0以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 （2）「心理及び心理支援」又は「食」に関わる強い興味と関心を持つ者 （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。	
	文化創生コース （実技系（美術））	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 （1）調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 （2）美術に優れた能力を有する者 （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。	
	文化創生コース （実技系（音楽））	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 （1）調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 （2）次の分野のいずれかにおいて、特に優れた能力、関心を有する者 声楽、ピアノ、アンサンブル（管弦打楽器）、作曲、音楽教育 （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。	
	文化創生コース （実技系（スポーツ））	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 （1）調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 （2）スポーツに優れた能力を有する者 （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。	
選 抜 方 法 等		推薦書、調査書、志望理由書等の書類の他、次の選抜を実施し、総合的に判定します。 児童教育コース …… 面接（口頭試問を含みます。） 文化創生コース …… 文科系あるいは理科系：面接（口頭試問を含みます。） 実技系（美術）：面接（口頭試問を含みます。）及び実技検査 実技系（音楽）：面接（口頭試問を含みます。）及び実技検査 実技系（スポーツ）：面接（口頭試問を含みます。）及び実技検査	

出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月16日（水）：文化創生コース 平成28年11月17日（木）：児童教育コース
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・地域教育文化学部試験場 山形市小白川町一丁目4-12 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。 なお、この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。

理学部

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実 施 学 科 名		理学科
募 集 人 員		数学分野受験 … 7人 物理学分野受験 … 5人
出 願 要 件	数学分野受験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 数理情報科学の領域において、高い科学的関心と意欲を持つ者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
	物理学分野受験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に物理への強い関心と勉強意欲をもつ者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科にあつては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については、物理基礎及び物理（理数科にあつては、理数物理） (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
選 抜 方 法 等		面接（口頭試問を含みます。）及び調査書により選抜します。（志望理由書、推薦書は面接の際の参考資料となります。）
出 願 期 間		平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日		平成28年11月12日（土）
合 格 発 表 日		平成28年11月25日（金）
そ の 他		・理学部試験場 山形市小白川町一丁目4-12 ・推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）の数学分野受験に出願し、不合格となった者は、推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）の数学分野受験にのみ出願することができます。 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。 なお、この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。

理学部

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

実施学科名		理学科																
募集人員		数学分野受験 … 10人 化学分野受験 … 7人 生物学分野受験 … 5人 地球科学分野受験 … 10人																
出願要件	数学分野受験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) 特に理数的分野に高い関心と強い意欲をもつ者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（数学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科にあつては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。																
	化学分野受験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に化学の勉学を強く希望する者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（化学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。																
	生物学分野受験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に生物学に強い関心と勉学意欲をもつ者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（生物学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。																
	地球科学分野受験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に地球科学の勉学を強く希望する者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（地球科学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。																
選抜方法等		大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、志望理由書による書類審査及び面接（口頭試験を含みます。）により選抜します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">選 抜 区 分</th><th>大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr> <tr> <th></th><th>教科</th><th>科 目 名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数 学 分 野 受 験</td><td>国 地歴 公民 数</td><td> 国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 </td></tr> <tr> <td>理 外</td><td> 物、化、生、地学から1 英（リスニングを含みます。）、独、仏、中、韓から1 （5教科6科目） </td></tr> <tr> <td rowspan="2">化 学 分 野 受 験</td><td>数</td><td> 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 </td></tr> <tr> <td>理 外</td><td> 化 物、生、地学から1 英（リスニングを含みます。）、独、仏、中、韓から1 （3教科5科目） </td></tr> </tbody> </table>	選 抜 区 分		大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科	科 目 名	数 学 分 野 受 験	国 地歴 公民 数	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	理 外	物、化、生、地学から1 英（リスニングを含みます。）、独、仏、中、韓から1 （5教科6科目）	化 学 分 野 受 験	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1	理 外	化 物、生、地学から1 英（リスニングを含みます。）、独、仏、中、韓から1 （3教科5科目）
選 抜 区 分		大学入試センター試験の利用教科・科目名																
	教科	科 目 名																
数 学 分 野 受 験	国 地歴 公民 数	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1																
	理 外	物、化、生、地学から1 英（リスニングを含みます。）、独、仏、中、韓から1 （5教科6科目）																
化 学 分 野 受 験	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1																
	理 外	化 物、生、地学から1 英（リスニングを含みます。）、独、仏、中、韓から1 （3教科5科目）																

選 抜 方 法 等	選 抜 区 分	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
		教科	科 目 名
	生物学分野受験	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数 I, 数 I・数 A から 1 数 II, 数 II・数 B, 簿, 情報から 1 以下のパターン①又は②から 1 ①物基, 化基, 地学基から 2 生 ②生 物, 化, 地学から 1 英 (リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から 1 (5教科7科目又は5教科8科目)
	地球科学分野受験	国 地歴 公民 数 理 外	国 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数 I, 数 I・数 A から 1 数 II, 数 II・数 B, 簿, 情報から 1 以下のパターン①又は②から 1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から 2 ②物, 化, 生, 地学から 1 英 (リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から 1 (5教科6科目又は5教科7科目)
	(注) 1 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」について、2科目受験した場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。 2 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。 3 数学分野受験及び地球科学分野受験において、大学入試センター試験の「理科」について、「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。 4 地球科学分野受験において、「理科」について、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績(「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計)を用います。 5 大学入試センター試験の「数学」について、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。 6 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合、配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を本学が定める配点に換算します。		
出 願 期 間	平成29年1月16日(月)から1月19日(木)まで 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、1月19日(木)まで必着とします。		
選 抜 期 日	平成29年1月28日(土)		
合 格 発 表 日	平成29年2月6日(月)		
そ の 他	・理学部試験場 山形市小白川町一丁目4-12 ・推薦入試Ⅰ(大学入試センター試験を課さない推薦入試)の数学分野受験に出願し、不合格となった者は、推薦入試Ⅱ(大学入試センター試験を課す推薦入試)の数学分野受験にのみ出願することができます。 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。		

医学部

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

実 施 学 科 名	医学科						
募 集 人 員	30人						
出 願 要 件	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者で、人物・学力共に優秀で、特に医学科での勉学を強く希望する者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（理数科にあつては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上（理数科にあつては、理数物理、理数化学及び理数生物から2科目以上） (3) 平成29年度大学入試センター試験（本学科で指定した教科・科目）を受験する者 (4) 合格した場合は、医学科に入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。						
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書及び志望理由書と医学部が実施する面接により総合的に判定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr> <tr> <th>教科</th><th>科 目 名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 地歴 公民 数 理 外</td><td> 国 世B、日B、地理B 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生から2 英（リスニングを含みます。）、独、仏から1 （5教科7科目） </td></tr> </tbody> </table> （注） 1 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。 2 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科	科 目 名	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生から2 英（リスニングを含みます。）、独、仏から1 （5教科7科目）
大学入試センター試験の利用教科・科目名							
教科	科 目 名						
国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生から2 英（リスニングを含みます。）、独、仏から1 （5教科7科目）						
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。						
選 抜 期 日	平成28年11月16日（水）						
合 格 発 表 日	平成29年2月6日（月）						
そ の 他	・高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。なお、この場合には、調査書の「備考」の欄にその理由を明示してください。 ・また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。 ・医学部試験場 山形市飯田西二丁目2-2 ・推薦入試で不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般入試に出願することができます。						

医学部

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実 施 学 科 名	看護学科
募 集 人 員	20人
出 願 要 件	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 看護学の勉学を強く希望し、将来、看護の実践・指導に携わることを決意している者 (2) 人格・学力共に優秀な者 (3) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bのうち2科目以上（理数科にあつては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ） ② 理科については、物理基礎、化学基礎、生物基礎のうち2科目以上（理数科にあつては、理数物理、理数化学、理数生物のうち2科目以上） (4) 合格した場合は、看護学科に入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
選 抜 方 法 等	調査書、推薦書及び志望理由書と医学部が実施する面接及び小論文の結果により総合的に判定します。
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月16日（水）
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。なお、この場合には、調査書の「備考」の欄にその理由を明示してください。 ・また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。 ・医学部試験場 山形市飯田西二丁目2-2 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。なお、この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。

工学部昼間コース

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実施学科・コース名		高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科 建築・デザイン学科	応用化学・化学工学コース バイオ化学工学コース 情報・知能コース 電気・電子通信コース
募 集 人 員		高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科 建築・デザイン学科	… 30人(出願要件①27人, ②3人) … 9人(出願要件①7人, ②2人) … 9人(出願要件①7人, ②2人) … 10人(出願要件①8人, ②2人) … 10人(出願要件①7人, ②3人) … 24人(出願要件①19人, ②5人) … 5人(出願要件①5人)
出 願 要 件	①	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（（注）のア及びイを含みます。）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者	
	②	高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科（工業に関する教科・科目を20単位以上修得のこと。）を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者	
選 抜 方 法 等		調査書、推薦書及び工学部が実施する面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。	
出 願 期 間		平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。	
選 抜 期 日		平成28年11月12日（土）・13日（日）（大学が指定するいずれかの日）	
合 格 発 表 日		平成28年11月25日（金）	
そ の 他		・工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16 ・本学部AⅠ入試Ⅲと同時に申し込むことはできません。 ・高分子・有機材料工学科、情報・エレクトロニクス学科又は機械システム工学科の推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）に出願し、不合格となった者は、推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）の同一学科・コースにのみ出願することができます。 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。 なお、この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。	

工学部昼間コース

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

実施学科・コース名	高分子・有機材料工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	情報・知能コース 電気・電子通信コース								
募集人員	高分子・有機材料工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	… 5人 … 5人 … 5人 … 9人								
出願要件	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（（注）1）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者 （1）調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 （2）平成29年度大学入試センター試験（本学科で指定した教科・科目）を受験した者（（注）2） （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）1 次のいずれかに該当する者を含みます。 ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者 2 平成28年度大学入試センター試験以前の成績は利用しません。									
選抜方法等	<table><tr><th rowspan="2">学 科</th><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教科</th><th>科 目 名</th></tr><tr><td>高分子・有機材料工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科</td><td>数 理 外</td><td>数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から2 英（リスニングを含みます。） (3教科5科目) </td></tr></table> （注）1 大学入試センター試験の「数学」について、「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。		学 科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教科	科 目 名	高分子・有機材料工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	数 理 外	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から2 英（リスニングを含みます。） (3教科5科目)
学 科	大学入試センター試験の利用教科・科目名									
	教科	科 目 名								
高分子・有機材料工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	数 理 外	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から2 英（リスニングを含みます。） (3教科5科目)								
出願期間	平成29年1月16日（月）から1月20日（金）まで 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、1月20日（金）まで必着とします。									
選 抜 期 日	平成29年1月28日（土）									
合 格 発 表 日	平成29年2月6日（月）									
そ の 他	・工学部試験場 米沢市城南四丁目3－16 ・本学部A〇入試Ⅲの第1次選抜に合格した者は、本学が実施する推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）に出願することはできません。 ・高分子・有機材料工学科、情報・エレクトロニクス学科又は機械システム工学科の推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）に出願し、不合格となった者は、推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）の同一学科・コースにのみ出願することができます。 ・推薦入試で不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般入試に出願することができます。									

工学部フレックスコース

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実 施 学 科 名	システム創成工学科
募 集 人 員	5 人
出 願 要 件	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（（注）のア及びイを含みます。）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.3以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者
選 抜 方 法 等	調査書、推薦書、工学部が実施する複数の面接担当者による集団面接及び個別面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月12日（土）・13日（日）（大学が指定するいずれかの日）
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。 なお、この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。

農学部

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

実 施 学 科 名	食料生命環境学科
募 集 人 員	40人
出 願 要 件	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（注）並びに高等専門学校第3学年を修了した者又は平成29年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に食料生命環境学科での勉学を強く希望する者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）次のいずれかに該当するものを含みます。 ア 我が国において、当該外国の学校教育制度において12年の課程と同等の課程を有するものとして、文部科学大臣が位置付けた教育施設を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者 ウ 国際評価団体の認定を受けた教育施設であって文部科学大臣が指定した教育施設を修了した者又は修了見込みの者
選 抜 方 法 等	推薦書，調査書，志望理由書，小論文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月15日（火）
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・農学部試験場 鶴岡市若葉町1-23 ・推薦入試で不合格となった場合は、国公立大学の一般入試に出願することができます。 なお、この場合は大学入試センター試験を受験する必要があります。

V 社会人入試

人文社会科学部

実施学科・コース名	人文社会科学科 総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース
募 集 人 員	若干人
出 願 要 件	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者，その他これに準ずる者で，次のいずれかに該当し，かつ，平成29年4月1日現在で満26歳以上である者 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 (注) 学校教育法施行規則第150条第7号（個別の入学資格審査）の規定により本学の入学資格の認定を受けようとする者は，エンロールメント・マネジメント部入試課（TEL（023）628-4141）に連絡してください。 なお，個別の入学資格審査の詳細については，山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を課さずに，面接の結果及び出願書類を総合判定して行います。面接時間は1人30分程度です。面接においては社会的関心と視野の広さ等をみます。
出 願 期 間	平成28年10月19日（水）から10月21日（金）まで 受付時間は，9時から16時30分までとします。 なお，郵送の場合も，10月21日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月5日（土）
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・人文社会科学部試験場 山形市小白川町一丁目4-12

地域教育文化学部

実施学科・コース名	地域教育文化学科 児童教育コース 文化創生コース
募 集 人 員	児童教育コース … 若干人 文化創生コース 実技系（美術） … 若干人 実技系（音楽） … 若干人
出 願 要 件	平成29年3月31日までに満23歳に達し，社会人経験を5年以上（(注) 1，2）有する者で，次のいずれかに該当する者又は平成29年3月31日までにこれに該当する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（(注) 3） (注) 1 社会人経験には家事・家業従事の期間を含みます。 2 就業しながら定時制，通信制の高等学校に在学した期間は，社会人の経験期間に含めます。 3 学校教育法施行規則第150条第7号（個別の入学資格審査）の規定により本学の入学資格の認定を受けようとする者は，エンロールメント・マネジメント部入試課（TEL（023）628-4141）に連絡してください。 なお，個別の入学資格審査の詳細については，山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を課さずに，志望理由書等の出願書類のほか，次の選抜を実施し，総合的に判定します。 児童教育コース …… 面接（口頭試問を含みます。） 文化創生コース 実技系（美術）：面接（口頭試問を含みます。）及び実技検査 実技系（音楽）：面接（口頭試問を含みます。）及び実技検査
出 願 期 間	平成28年11月1日（火）から11月4日（金）まで（祝日を除きます。） 受付時間は，9時から16時30分までとします。 なお，郵送の場合も，11月4日（金）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月16日（水）
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・地域教育文化学部試験場 山形市小白川町一丁目4-12

工学部フレックスコース

実 施 学 科 名	システム創成工学科
募 集 人 員	若干人
出 願 要 件	有職者で、平成28年3月以前に次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 (注) ア 学校教育法施行規則第150条第7号（個別の入学資格審査）の規定により本学の入学資格の認定を受けようとする者は、エンロールメント・マネジメント部入試課（TEL（023）628-4141）に連絡してください。 なお、個別の入学資格審査の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。 イ 出願資格について、不明な点がある場合は、工学部入試担当（TEL（0238）26-3013）までお問い合わせください。
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を課さずに、調査書、就職状況調書及び工学部が実施する面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に判定します。
出 願 期 間	平成28年10月18日（火）から10月20日（木）まで 受付時間は、9時から16時30分までとします。 なお、郵送の場合も、10月20日（木）まで必着とします。
選 抜 期 日	平成28年11月12日（土）・13日（日）（大学が指定するいずれかの日）
合 格 発 表 日	平成28年11月25日（金）
そ の 他	・工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16

VI 私費外国人留学生入試

1 募集人員

各学部とも若干人とします。(工学部フレックスコースは募集を行いません。)

2 出願資格

次のすべてに該当し、かつ、「平成28年度(2016年度)日本留学試験」(本学で指定した科目)を受験した者

- (1) 日本の国籍を有しない者(注1)
- (2) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者又は取得見込みの者
- (3) 次の①から⑥のいずれかに該当する者で、2017年(平成29年)3月31日までに18歳に達するもの
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは2017年(平成29年)3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 国際バカロレア資格取得者
 - ③ アビトゥア資格取得者
 - ④ バカロレア資格(フランス共和国)取得者
 - ⑤ 国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI)の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者又は2017年(平成29年)3月31日までに修了見込みの者
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(注2)
- (4) 次の学部(学科, コース)については、それぞれの要件を満たしていること。

① 人文社会科学部

「平成28年度(2016年度)日本留学試験」の6月実施分又は11月実施分において「日本語(読解, 聴解・聴読解の合計)」、「日本語(記述)」、「総合科目」、「数学(コース1)」すべての科目が平均点以上の得点を得ていること。

② 地域教育文化学部

1) 地域教育文化学科児童教育コース及び文化創生コース(文科系あるいは理科系)

「平成28年度(2016年度)日本留学試験」の6月実施分又は11月実施分において各コースで指定するすべての科目が、平均点以上の得点を得ていること。

なお、「日本語」の科目については、記述、読解、聴解・聴読解の3領域から構成される。

2) 地域教育文化学科文化創生コース(実技系(美術)・実技系(音楽)・実技系(スポーツ))

「平成28年度(2016年度)日本留学試験」の6月実施分又は11月実施分において各コースで指定する科目の合計得点が、425点以上であること。

なお、「日本語」の科目については、記述、読解、聴解・聴読解の3領域から構成される。

③ 理学部

1) 「平成28年度(2016年度)日本留学試験」の6月実施分又は11月実施分において「日本語(読解, 聴解・聴読解の合計)」、「理科(2科目それぞれ)」、「数学(コース2)」すべての科目が平均点以上の得点を得ていること。

2) 「平成28年度(2016年度)日本留学試験」のほかに、TOEFLを受験し、TOEFLの成績が次の得点以上であること。

Paper-Based Testing(PBT) 450点又は Internet-Based Testing(iBT) 45点

④ 医学部医学科

「平成28年度(2016年度)日本留学試験」の6月実施分又は11月実施分において「日本語(読解, 聴解・聴読解の合計)」、「理科(2科目それぞれ)」、「数学(コース2)」すべての科目が平均点以上の得点を得ていること。

⑤ 工学部昼間コース

1) 「平成28年度(2016年度)日本留学試験」の6月実施分又は11月実施分において、各科目の成績が次の得点以上であること。

日本語(読解, 聴解・聴読解の合計) 200点, 理科(2科目の合計) 100点, 数学(コース2) 100点

2) 「平成28年度(2016年度)日本留学試験」のほかに、TOEFLを受験し、TOEFLの成績が次の得点以上であること。

Paper-Based Testing(PBT) 430点又は Internet-Based Testing(iBT) 39点

⑥ 農学部

「平成28年度(2016年度)日本留学試験」のほかに、TOEFL又はTOEICを受験し、TOEFL又はTOEICの成績が次の得点以上であること。

TOEFL: Paper-Based Testing(PBT) 410点又は Internet-Based Testing(iBT) 34点

TOEIC: 330点

(注1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校(在外教育施設を含む)を卒業した者又は卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。

(注2) 「個別の入学資格審査」により本学の入学資格の認定を受けようとする者は、エンロールメント・マネジメント部入試課(TEL (023)628-4141)に連絡してください。

なお、個別の入学資格審査の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。

日本留学試験指定科目等

学部、学科（コース名）			本学で指定した日本留学試験の科目	出題言語 の指定	
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	①日本語、②総合科目、③数学（コース1）	日本語	
		総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース			
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	〔①日本語、②総合科目、③数学（コース1又はコース2）〕又は 〔①日本語、②理科（物理、化学、生物から2）、③数学（コース2）〕	日本語	
		文化創生コース			文科系 あるいは 理科系
			実技系 （美術）		〔①日本語、②総合科目、③数学（コース1又はコース2）〕又は 〔①日本語、②理科（物理、化学、生物から2）、③数学（コース1又はコース2）〕
			実技系 （音楽）		
			実技系 （スポーツ）		
		理 学 部	理 学 科		①日本語、②理科（物理、化学、生物から2）、③数学（コース2）
医 学 部	医 学 科	①日本語、②理科（物理、化学、生物から2）、③数学（コース2）	なし		
	看 護 学 科		日本語		
工 学 部 昼間コース	高分子・有機材料工学科	①日本語、②理科（物理、化学、生物から2）、③数学（コース2）	なし		
	化学・バイオ工学科				
	情報・エレクトロニクス学科				
	機械システム工学科				
	建築・デザイン学科				
農 学 部	食料生命環境学科	①日本語、②理科（物理、化学、生物から2）、③数学（コース2）	なし		

（注）日本留学試験の成績は、出願時に志願者本人が2016年度（平成28年度）6月実施分又は11月実施分のいずれかを指定してください。

3 出願受付期間

人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、医学部、農学部

2017年（平成29年）1月16日（月）から2017年（平成29年）1月19日（木）まで

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、郵送（書留速達）の場合も、2017年（平成29年）1月19日（木）まで必着とします。

工学部昼間コース

2016年（平成28年）12月5日（月）から2016年（平成28年）12月9日（金）まで

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、郵送（書留速達）の場合も、2016年（平成28年）12月9日（金）まで必着とします。

4 出願書類

- 山形大学私費外国人留学生入試入学願書
- 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
- 日本留学試験成績通知書の写し
- TOEFLの成績通知書の写し（理学部、工学部昼間コース）、TOEFL又はTOEICの成績通知書の写し（農学部）
- 住民票の写し、パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書
- 志望理由書（日本語）（人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、工学部昼間コース）

5 選抜方法等

入学者の選抜は、「平成28年度（2016年度）日本留学試験」の成績（出願時に志願者本人が6月実施分又は11月実施分のいずれかを指定してください。）、本学の個別学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行います。

(1) 大学入試センター試験については、各学部とも課しません。

(2) 個別学力検査等

- ① 一般入試志願者の個別学力検査等と同一の試験を課す学部
医学部

- ② 一般入試志願者の個別学力検査等とは別の試験を課す学部
人文社会科学部、地域教育文化学部

ただし、地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（実技系（音楽））の実技検査については、一般入試志願者と同一の試験を課します。

- ③ 個別学力検査等を課さない学部
理学部、工学部昼間コース、農学部

(3) 個別学力検査等実施教科・科目等及び実施日

学部、学科（コース名）			個別学力検査等		
			実施教科・科目等	実施日	
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	面接（口頭試問を含みます。）	2017年(平成29年) 2月10日(金)	
		総合法律コース			
		地域公共政策コース 経済・マネジメントコース			
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	面接（口頭試問を含みます。）	2017年(平成29年) 2月25日(土)	
		文化創生コース		文科系 あるいは 理科系	2017年(平成29年) 2月26日(日)
			実技系 (美術)	実技検査 面接（口頭試問を含みます。）	2017年(平成29年) 2月25日(土)
			実技系 (音楽)		2017年(平成29年) 2月26日(日)
			実技系 (スポーツ)		
		理 学 部	理 学 科	個別学力検査等は課しません。	
医 学 部	医 学 科	国語（国語総合・現代文B） 数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から2科目） 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ） 面接	2017年(平成29年) 2月25日・26日(土・日)		
		看 護 学 科		外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ） 面接	
	工 学 部 昼間コース	高分子・有機材料工学科	個別学力検査等は課しません。		
化学・バイオ工学科					
情報・エレクトロニクス学科					
機械システム工学科					
建築・デザイン学科					
農 学 部	食料生命環境学科	個別学力検査等は課しません。			

(注) 1 医学部医学科学力検査の出題範囲は、次のとおりです。

国語総合：「近代以降の文章」

数 学 B：「数列」, 「ベクトル」

2 詳細については、9月下旬に公表予定の「私費外国人留学生入試募集要項」を参照してください。

6 合格者の発表

工学部昼間コース

2017年(平成29年) 1月20日(金) 11時

人文社会科学部

2017年(平成29年) 2月17日(金) 11時

地域教育文化学部, 理学部, 医学部, 農学部

2017年(平成29年) 3月7日(火) 11時

ENTRANCE EXAMINATION FOR PRIVATELY FINANCED INTERNATIONAL STUDENTS

1. Number of Students Accepted

Faculties accept a few privately financed international students each. However, the Faculty of Engineering evening course does not take privately financed international students.

2. Qualifications Required for Applicants

Applicants must satisfy all five qualification conditions A-D below:

- A. Applicants must have sat the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU) (subjects specified by Yamagata University) for the academic year 2016-17.
- B. Applicants must not be Japanese nationals. Those who have graduated, or are expected to graduate, from a senior or secondary school in Japan, or an overseas Japanese school, are treated as general applicants even if they are not Japanese nationals. They may not take the examinations for privately financed international students.
- C. Applicants must have acquired, or be expected to acquire the status of residence is defined as ‘College Student’ in the Immigration Control and Refugee Recognition Act.
- D. Applicants must be 18 years or over on March 31, 2017.
- E. Applicants must satisfy at least one of the following:
 - (i) Have completed, or are expected to complete by March 31, 2017, 12 years of school education in a country other than Japan; or have been deemed to have completed such an education by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
 - (ii) Have received an International Baccalaureat diploma.
 - (iii) Have received an Abitur.
 - (iv) Have received a Baccalauréat (France).
 - (v) Have completed, or are expected to complete by March 31, 2017, 12 years of education at a school for foreign nationals in Japan certified by an international accrediting organization (WASC, CIS or ACSI).
 - (vi) Have been recognized by Yamagata University through individual entrance eligibility screening as having academic abilities equivalent to or higher than a high school graduate. Those who wish to qualify for admission through individual entrance eligibility screening should contact the Entrance Examination Section of the Enrollment Management Department at +81 (0)23 628 4141. For details of the screening process, please see the ‘Admissions’ section of the Yamagata University website.

In addition to conditions A-E above, the following faculties, departments and courses have their own supplementary requirements, as follows. These are summarized in Table 1.

- Faculty of Humanities and Social Sciences:

Applicants must have obtained an average or higher score in EJU Japanese as a Foreign Language (reading comprehension, listening, listening-reading comprehension), Japanese (writing), Japan and the World, and Mathematics (Course 1) for the academic year 2016-17 taken in June or November.

- Faculty of Education, Art and Science:

- (i) Applicants for the Primary Education and the Cultural Innovation (Humanities or Sciences) courses must have obtained an average or higher score in all EJU subjects specified by the applicable course in the EJU for the academic year 2016-17 taken in June or November.
- (ii) Applicants for the Cultural Innovation (Art, Music, and Sports) course must have a total score of 425 or higher in the EJU subjects specified by the applicable course for the academic year 2016-17 taken in June or November.

- Faculty of Science:
Applicants must have obtained an average or higher score in EJU Japanese as a Foreign Language (reading comprehension, listening, listening-reading comprehension), Science (each of the two subjects) and Mathematics (Course 2) for the academic year 2016-17 taken in June or November. In addition, applicants must have sat a TOEFL test and scored 450 or higher in the Paper-Based Test (PBT) or 45 or higher in the Internet-Based Test (iBT).
- Faculty of Medicine, Department of Medicine:
Applicants must have obtained an average or higher score in EJU Japanese as a Foreign Language (reading comprehension, listening, listening-reading comprehension), Science (each of the two subjects) and Mathematics (Course 2) for the academic year 2016-17 taken in June or November.
- Faculty of Engineering, Daytime Courses
Applicants must have scored 200 or higher in EJU Japanese as a Foreign Language (reading comprehension, listening, listening-reading comprehension), a total of 100 or higher in Science across both subjects, and 100 or higher in Mathematics (Course 2) for the academic year 2016-17 taken in June or November. In addition, applicants must have sat a TOEFL test and scored 430 or higher in the Paper-Based Test (PBT) or 39 or higher in the Internet-Based Test (iBT).
- Faculty of Agriculture
In addition to the EJU for the 2016-17 academic year, applicants must have sat a TOEFL or TOEIC test. For the TOEFL test, a score of at least 410 is required in the Paper-Based Test (PBT), or of at least 34 in the Internet-Based Test (iBT). For the TOEIC test, a score of at least 330 is required.

3. Application Period

- Faculty of Engineering, Daytime Courses:
The application period is December 5-9, 2016. For drop-off in person, reception hours are from 9:00 to 16:30. Applications by registered express mail must reach us no later than December 9, 2016.
- All other faculties:
The application period is January 16-19, 2017. For drop-off in person, reception hours are from 9:00 to 16:30. Applications by registered express mail must reach us no later than January 19, 2017.

4. Documents to Be Submitted for Application

All Faculty Requirements:

- Entrance Examination for Privately Financed International Students application form
- Graduation certificate and academic transcript from the school most recently attended by the applicant
- Photocopy of EJU Score Report
- One copy of one of the following: (a) your Japanese certificate of residence (*jūminhyō*); (b) your passport; (c) proof of residence in your home country

Applicants should specify which 2016-17 academic year EJU they took (either June or November) when filing application documents.

Additional Faculty-Specific Requirements:

- Humanities and Social Sciences: statement in Japanese explaining motivation for application
- Education, Art and Science: statement in Japanese explaining motivation for application
- Science: statement in Japanese explaining motivation for application; photocopy of TOEFL result report
- Engineering, Daytime Courses: statement in Japanese explaining motivation for application; photocopy of TOEFL result report
- Agriculture: photocopy of TOEFL or TOEIC result report

5. Screening Method

The screening of applicants will be done on the basis of:

- the 2016-17 academic year EJU results
- the results of the Yamagata University Individual Academic Test (where applicable: see below)
- screening of application documents

No faculty requires applicants to sit the National Center Test for University Admissions. Each Faculty's requirement for the Individual Academic Test (IAT) differs: the Faculties of Science, Engineering, Daytime Courses and Agriculture require no IAT; the Faculty of Medicine requires the same IAT as general applicants; for other Faculties see Table 2.

The range of questions in the academic test for the Faculty of Medicine are: 'Integrated Japanese Language: writing since the modern times' and 'Mathematics B: sequences, vectors'. For more detail, refer to the *Application Guidelines for Privately Financed International Students* to be published in the end of September.

6. Announcement of Examination Results

- Faculty of Engineering, Daytime Courses: January 20, 2017 at 11 am JST.
- Faculty of Humanities and Social Sciences: February 17, 2017 at 11 am JST.
- All other faculties: March 7, 2017 at 11 am JST.

Table 1: Faculty EJU Requirements

FACULTY			EJU Subjects specified by Yamagata University	specified language for EJU
	DEPARTMENT	COURSE		
Humanities and Social Sciences	Humanities and Social Sciences	Human Sciences and Culture Studies	Japanese, Japan and the World, Mathematics (Course 1)	Japanese
		Law/ Public Policy/ Economics and Business Management		
Education, Art and Science	Education, Art and Science	Primary Education	Japanese, Japan and the World, Mathematics(Course 1 or 2) or Japanese, Science (two from Physics, Chemistry, Biology), Mathematics (Course 2)	Japanese
		Cultural Innovation (Humanities or Sciences)		
		Cultural Innovation (Art)	Japanese, Japan and the World, Mathematics (Course 1 or 2) or Japanese, Science (two from Physics, Chemistry, Biology), Mathematics (Course 1 or 2)	
		Cultural Innovation (Music)		
		Cultural Innovation (Sports)		
Science	Science		Japanese, Science (two from Physics, Chemistry, Biology), Mathematics (Course 2)	not specified
Medicine	Medicine		Japanese, Science (two from Physics, Chemistry, Biology), Mathematics (Course 2)	not specified
	Nursing			Japanese
Engineering, Daytime Courses	Polymeric and Organic Materials Engineering		Japanese, Science (two from Physics, Chemistry, Biology), Mathematics (Course 2)	not specified
	Applied Chemistry, Chemical Engineering and Biochemical Engineering			
	Informatics and Electronics			
	Mechanical Systems Engineering			
	Architecture, Design and Building Science			
Agriculture	Food, Life and Environmental Sciences		Japanese, Science (two from Physics, Chemistry, Biology), Mathematics (Course 2)	not specified

Table 2: Faculty IAT Requirements

Table 2: Faculty IAT Requirements				
FACULTY			Individual Academic Test (IAT)	
	DEPARTMENT	COURSE	Subject	Date (2017)
Humanities and Social Sciences	Humanities and Social Sciences	Human Sciences and Culture Studies	Interview(including oral exam in Japanese)	February 10
		Law/ Public Policy/ Economics and Business Management		
Education, Art and Science	Education, Art and Science	Primary Education	Interview(including oral exam in Japanese)	February 25
		Cultural Innovation (Humanities or Sciences)		February 26
		Cultural Innovation (Art)	Skill test <i>and</i> interview(including oral exam in Japanese)	February 25
		Cultural Innovation (Music)		
		Cultural Innovation (Sports)		February 26
Science	Science		No individual academic test is required	
Medicine	Medicine		Japanese Language Integrated Japanese Language Contemporary Japanese Language B Mathematics Mathematics I Mathematics II Mathematics III Mathematics A Mathematics B Science any two from: Basic Physics / Advanced Physics Basic Chemistry / Advanced Chemistry Basic Biology / Advanced Biology Foreign Languages English Communication I English Communication II English Communication III English Expression I <i>and</i> Interview	February 25-26
	Nursing		Foreign Languages English Communication I English Communication II English Communication III English Expression I <i>and</i> Interview	
Engineering, Daytime Courses	Polymeric and Organic Materials Engineering		No individual academic test is required	
	Applied Chemistry, Chemical Engineering and Biochemical Engineering			
	Informatics and Electronics			
	Mechanical Systems Engineering			
	Architecture, Design and Building Science			
Agriculture	Food, Life and Environmental Sciences		No individual academic test is required	

Ⅶ 各種募集要項等の請求方法

1 公表時期

資 料 名	公 表 時 期
一般入試学生募集要項	平成28年10月下旬公表予定
地域教育文化学部AO入試学生募集要項	(未定)
工学部AO入試学生募集要項	平成28年6月下旬公表予定
推薦入試学生募集要項	平成28年9月下旬公表予定
社会人入試学生募集要項 (人文社会科学部, 地域教育文化学部, 工学部フレックスコース)	平成28年9月下旬公表予定
私費外国人留学生入試募集要項	平成28年9月下旬公表予定

2 請求方法

各種募集要項等については、山形大学のホームページ等から請求することができます。

なお、テレメール又はモバっちよから請求される場合は、各社が定める個人情報の取り扱いについてご確認くださいませうお願いします。

(1) 山形大学ホームページからの請求方法 (社会人入試学生募集要項を除きます。)

本学ホームページ (<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>) 「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメール又はモバっちよによる請求ができます。

(2) テレメールによる請求方法 (社会人入試学生募集要項を除きます。)

① インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話) 又は自動音声応答電話で請求する場合



テレメール

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）		自動音声応答電話	
http://telemail.jp		I P 電話 ※	(050)8601-0101 (24時間受付)
スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 			



※ I P 電話：一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。

② 資料請求番号 (6桁) をプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)	発 送 開 始 時 期 (予 定)
入学者選抜要項	581022	料金(送料含)は資料等の重量により異なりますので、請求画面上で各々ご確認願います。	平成28年7月上旬
入学者選抜要項+大学案内	561002		平成28年7月下旬
一般入試学生募集要項	581002		平成28年11月上旬
一般入試学生募集要項+大学案内	541002		平成28年11月上旬
地域教育文化学部AO入試学生募集要項	621002		(未定)
工学部AO入試学生募集要項	543222		平成28年7月上旬
推薦入試学生募集要項	581012		平成28年9月下旬
推薦入試学生募集要項+大学案内	541012		平成28年9月下旬
私費外国人留学生入試募集要項	541022		平成28年9月下旬
大学案内	561022		平成28年7月下旬
人文社会科学部案内	561032		平成28年8月上旬
地域教育文化学部案内	561042		平成28年8月上旬
理学部案内	581032		平成28年7月中旬
医学部医学科案内	581042		平成28年8月上旬
医学部看護学科案内	541042		平成28年8月上旬
工学部パンフレット	561092		平成28年8月上旬
農学部案内	581092		平成28年7月上旬

③ 前頁②の操作後は、画面の指示又は音声ガイダンスに従ってください。

- ・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日のおおむね2～3日後に資料が届きます。
- ・ 発送開始日以降に請求された資料は、おおむね2～3日後に届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります。また発送開始日の変更になる可能性もあります。なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。
- ・ 料金のお支払は資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行のATM及び窓口での払込み」「コンビニ支払い」「携帯払い（携帯電話通話料金と一緒にのお支払い）」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払い手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- ・ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・氏名の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声不鮮明な場合は、電話で住所・氏名を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。
- ・ 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。
- ・ 一般入試学生募集要項は、大学のホームページからの請求に限り、通常受付終了後でも引き続きテレメール速達対応（レターパックプラスによる発送）にて請求受付を行います。

【通常受付期限】平成29年1月26日（木）正午まで 【速達対応受付期限】平成29年1月29日（日）正午まで
速達対応の送料は、通常受付の送料とは金額が異なります。詳しくは大学のホームページでご確認ください。

(1) (2) の請求方法についてのお問い合わせは

テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで

(3) 「モバっちょ」による請求方法

パソコン、スマートフォン、携帯電話から請求できます。



【URL】<http://djcm-b.jp/yamagata-u3/>

資 料 名	料 金	発 送 開 始 時 期 (予 定)
入学者選抜要項	200円	平成28年7月上旬
入学者選抜要項+大学案内	300円	平成28年7月下旬
大学案内	200円	平成28年7月下旬
一般入試学生募集要項	200円	平成28年11月上旬
一般入試学生募集要項+大学案内	300円	平成28年11月上旬
地域教育文化学部AO入試学生募集要項	200円	(未定)
工学部AO入試学生募集要項	200円	平成28年7月上旬
推薦入試学生募集要項	200円	平成28年9月下旬
人文社会科学部案内	200円	平成28年8月上旬
地域教育文化学部案内	200円	平成28年8月上旬
理学部案内	200円	平成28年7月中旬
医学部医学科案内	200円	平成28年8月上旬
医学部看護学科案内	200円	平成28年8月上旬
工学部パンフレット	200円	平成28年8月上旬
農学部案内	200円	平成28年7月上旬

【料金の支払い方法】

① 請求時払い

スマートフォン払い、携帯払い、クレジットカード払いができます（支払手数料は別途50円必要です。）。

※スマートフォン・携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

② 後払い

資料到着後、コンビニでお支払いください（支払手数料は別途126円必要です。）。

(1) (3) の請求方法についてのお問い合わせは
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
050-3540-5005（平日10：00～18：00）まで

(4) 大学窓口で直接受け取る場合

各学部入試担当（裏表紙参照）の窓口又は山形大学東京サテライトで受け取ることができます。

ただし、土・日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除きます。

なお、配付時間は、9時から17時までとします。

※山形大学東京サテライト

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目3-6-609 キャンパス・イノベーションセンター6階

TEL (03)5440-9071

アクセス等については、次のホームページをご参照ください。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/satellite/tokyo/access.html>

(5) ホームページからダウンロードする方法（社会人入試学生募集要項のみ）

本学のホームページ（<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>）「入試案内」又は「受験生の方」から、9月下旬以降ダウンロードしてください。

Ⅷ 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために、多様な方法で選抜を実施します。

人 文 社 会 科 学 部

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

- Challenge：人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人
- Cooperation：多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人
- Contribution：活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

以上のような観点から人文社会科学科各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

人文社会科学科

（人間文化コース）

人間文化コースは、文化人類学、日本学、歴史学、文化解釈学、認知情報科学の5つのプログラムから成り、それぞれの学問において、古今東西の文献・作品を分析する資料分析科目、実地に調査を重ねる課題解決型科目、仮説を実証的に検証する実験科目など、人文科学の多彩な手法を用いて研究を進めます。情報処理や語学などの基礎的スキルを学んだ上で、講義・演習で特定分野の専門知を体系的に修得し、その知識をいかした課題解決型の演習に取り組むという過程を通じて、創造性豊かに社会に貢献できる人材を養成します。

人間文化コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・人間とその文化的活動に強い関心を持ち、人文科学の諸分野を学ぶ意欲を持っている人（Challenge）
- ・異なる意見を理解し、自分の考えを論理的に表現することで、他者との協調を図ることのできる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の基礎的学力を身につけており、大学で習得する知識や経験を社会の課題解決に生かす意欲を有する人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験における国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科の教科・科目と小論文の個別学力検査を課し、基礎的学力と読解力・論理的思考力・記述力を評価します。

一般入試（後期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験における国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科の教科・科目と外国語の個別学力検査を課し、基礎的学力と読解力・記述力を要する英語の学力を評価します。

推薦入試 I

人間とその文化的活動への強い関心と人文科学への勉学意欲を持っている入学者を選抜するために、書類審査と面接を課し、基礎的能力と人文科学に対する関心・問題意識等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

人文科学と日本の社会・文化に強い関心と勉学意欲を持っている入学者を選抜するために、日本留学試験と面接を課し、基礎的学力および日本語運用能力と人文科学に対する関心・問題意識等を総合的に評価します。

（グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースは、国際地域研究と多文化研究の2つのプログラムから成っています。外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究をおこなうことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像および入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人（Challenge）
- ・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
- ・基礎的な英語力を身につけており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身につける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の学力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験（国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科）そして個別学力検査（英語）を課します。高等学校で学ぶ教科・科目についての基礎的な知識並びに英語力を評価します。

推薦入試 I

グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的と意欲を持ち、在学中に優れた活動実績がある者、国際社会・異文化理解・外国語について深い関心がある者を選抜するために、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書）及び面接を課します。志望理由書に基づく質疑応答を重視しつつ、書類審査と面接の結果を総合して評価します。

（総合法律コース、地域公共政策コース、経済・マネジメントコース）

各コースの概要は、次のとおりです。

【総合法律コース】

総合法律コースでは、体系的な法学教育を通じて法律学の基礎的知識を修得したうえで、学際的な教育プログラム及び法律専門機関等との連携・協力による実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて、幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることができます。法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成します。

【地域公共政策コース】

地域公共政策コースでは、地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に把握・分析し、実践的な活動を通じてその解決に取り組むことのできる人材を養成します。産官学民の枠を超えて協働し地域活動や政策形成を行うことのできる、地方創生の担い手として必要な知識・能力を身につけることができます。

【経済・マネジメントコース】

経済・マネジメントコースでは、経済社会で活躍するために不可欠な知識や思考力を身に付けることができます。専門科目の体系的な履修に加えて、コース横断的な科目や多彩な実践科目の履修を通じて、経済社会の課題解決と持続可能な地域経済発展に貢献できる人材を養成します。

◆求める学生像

- ・社会に対する強い関心と社会科学を学ぶ強い意欲を持っている人（Challenge）
- ・物事を論理的に考える力や自分の考えをわかりやすく伝える力を持ち、異なる価値観を持った人たちと協調的に行動できる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の学力を有し、大学で身に付けた知識や考え方を生かして社会の発展に貢献する意欲のある人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身に付けた人を選抜するため、大学入試センター試験（国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科）を課します。個別学力検査等では英語・数学のいずれかを課し、基礎的知識、論理的思考力、表現力を評価します。

一般入試（後期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身に付けた人を選抜するため、大学入試センター試験（国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科）を課します。個別学力検査等では英語を課し、基礎的学力、論理的思考力、表現力を評価します。

推薦入試Ⅰ

それぞれのコースで学ぶ意欲、在学中の優れた成績・活動実績を有し、社会への深い関心を持った人を選抜するため、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書、読書感想文）と面接を課します。協調性を持って倫理的に行動できるか、社会の発展に貢献する意欲があるかについても評価します。

社会人入試

調査書・志望理由書などの出願書類及び面接の結果を総合して可否を決定します。面接では、社会的関心と視野の広さなどを評価します。また、社会の発展に貢献する意欲も評価します。

私費外国人留学生入試

日本の社会に強い関心があり、社会科学を学ぶ意欲を持っている人を選抜するため、日本留学生試験と面接を課し、基礎的学力、日本語運用能力、社会科学に対する関心や問題意識等を総合的に評価します。

地域教育文化学部

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学の教育・研究を通じて幅広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、独創性と柔軟性をもって地域課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する実践的な人材の養成を目的とします。

地域教育文化学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

- Challenge** : 広い視野に立って、新しいことに挑戦しようとする意欲のある人
- Cooperation** : 課題に積極的に取り組む行動力、他者を受け入れる包容力、社会性とコミュニケーション能力を備えている人
- Contribution** : 今日的な社会課題とその課題解決に強い関心があり、地域文化の活性化に貢献できる職業に就きたい意欲・情熱を持っている人

◆入学者選抜の基本方針

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学について学び、広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観をもって地域の課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する意欲をもった学生を受け入れます。

以上のような観点から、地域教育文化学科の各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

地域教育文化学科

（児童教育コース）

本コースでは、高等学校までの基礎的な学力・実技能力を身に付けて、学校・地域・家庭の連携と相互信頼関係の必要性を理解し、今日的社会の要請に応える高度な専門性を有する小学校教員を目指す意欲をもった学生を受け入れます。また、小学校教員に加えて、幼児や障がいのある子どもへの適切な指導を行うことのできる教員や、中学校5教科（国語、社会、数学、理科、英語）のいずれかの専門的知識を有する教員になることを希望する学生を受け入れます。

地域教育文化学科・児童教育コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・小学校教員を目指す人
- ・小学校教員免許に加えて、幼稚園、特別支援学校、中学校・高等学校5教科（国語、社会、数学、理科、英語、高等学校社会は地歴）のいずれかの免許取得を目指す人
- ・各教科にわたる基礎的な知識と探究心を備えている人
- ・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
- ・子どもを受けとめられる包容力や寛容な心、他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては、英語及び小論文を課します。英語では、本コースの修学に必要な基礎的な学力を検査します。小論文では、主に資料や文章を与え、基礎的な学力に加えて、内容の理解力と論理的思考力・表現力を総合的に評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては、面接により、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、本コース志望の動機と勉学意欲や教育に関する幅広い興味・関心等について総合的に評価します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接（口頭試問を含みます。）により、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的な学力、論理的思考力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力など）、学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。

社会人入試

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により、地域貢献に対する姿勢や、新たな教育的課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともにコースに関わる適性や、コースに関わる基礎的な能力等について評価し、可否を判定します。

（文化創生コース）

本コースは、地域社会の持続可能な発展を「こころ」と「からだ」の両面から支援し、市民の主体的な地域文化創生を支援する意欲をもった学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や、得意分野に関するすぐれた理解・技能を有して、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲をもった学生を受け入れます。

地域教育文化学科・文化創生コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・地域における健康支援や文化的活動に興味や関心のある人
- ・心理学、栄養学、食品学、スポーツ科学など心身の健康に貢献する学門分野に興味や関心のある人
- ・音楽、美術、デザインなど芸術文化に関する分野に興味や関心のある人
- ・保健体育科、音楽科、美術科の中学校・高等学校教員を目指す人

◆入学選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では、「文科系あるいは理科系で5教科6科目又は5教科7科目」、「実技系（美術）で4教科4科目又は4教科5科目」、「実技系（音楽）で3教科3科目又は3教科4科目」、「実技系（スポーツ）で5教科5科目又は5教科6科目」の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては、「文科系あるいは理科系」で英語、化学、生物のいずれか1つの試験を課し、考察力・論理的思考力・記述力を総合的に評価します。「実技系」で美術・音楽・スポーツのいずれか1つの実技検査を行い、コースに関わる基礎的な実技の能力を評価します。

※「実技系」とは、美術、音楽、スポーツをいいます。「文科系あるいは理科系」とは、実技系（美術、音楽、スポーツ）以外をいいます。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。

個別学力検査としては、面接（口頭試問を含みます。）により、地域貢献に対する姿勢や、新たな課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともに、コースに関わる適性等を評価します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、「文科系あるいは理科系」では、面接（口頭試問を含みます。）によって、地域貢献に対する姿勢や新たな課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともに、コースに関わる適性等を評価します。「実技系」では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術、音楽、スポーツから1つを選択します。）によって、コースに関わる適性等を評価します。

AO入試Ⅰ

実技系（美術・音楽・スポーツ）志願者を対象とします。大学入試センター試験を課さず、第1次選抜では、書類選抜により、高校時代の学業や課外活動の記録について評価し、これらを総合して可否を判定します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）により、課題に挑戦する積極的な姿勢や基礎的な実技の能力について、大学のAO入試担当者が訪問して総合的に評価し、可否を判定します。

社会人入試

実技系のうち美術と音楽について実施します。大学入試センター試験を課さず、実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）により、地域貢献に対する姿勢や、新たな課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともにコースに関わる適性や、コースに関わる基礎的な実技の能力等について評価し、可否を判定します。

理 学 部

理学部は、自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ、教育プログラム（理学）では、理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て、分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後、独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つの C）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力，論理的思考力及び主体的学習力を持ち，次の3要素（3つの C）を備えていること。

- Challenge** : 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち，真理探究や未知なものの発見や創造に挑戦できる人
- Cooperation** : 高い倫理観と協調性を持ち，身につけた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人
- Contribution** : 人間社会の抱える問題を認識し，その解決に向けて，理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲をもつ人

以上のような観点から，理学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

理学科

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

理学科で学ぶ上で必要となる基礎的な学力を，総合的に評価するため大学入試センター試験を課します。更に，数学，物理学，化学，生物学，地球科学の中から1分野を選んだ個別学力検査で記述による思考力や表現力を評価します。今までの学習活動及び課外活動は，調査書の内容を総合して評価します。

一般入試（後期日程）

英語及び理数科目に重点を置く大学入試センター試験を課します。今までの学習活動及び課外活動は，調査書の内容を総合して評価します。

推薦入試Ⅰ

調査書により今までの学習活動及び課外活動を評価します。理学分野に関する強い興味と好奇心及び理学をわかりやすく表現する能力を評価するため，数学及び物理に関する口頭試問を含む面接を課します。

推薦入試Ⅱ

調査書により今までの学習活動及び課外活動を評価します。理学分野に関する基礎的な学力を，総合的に評価するため大学入試センター試験を課します。更に，論理的思考力，理学分野への意欲や関心の度合いを評価するため，口頭試問を含む面接を課します。

医 学 部

医学部には，医学科と看護学科の2学科があります。

医学科は，新設医学部・医科大学の一期校として昭和48年に地域医療の中核として設立され，以来，「広い視野を持ち，自ら学び，考え，創造し，それらを生涯にわたって発展させることのできる医師及び医学研究者を養成する」という建学の精神に基づき，すでに3,902人の卒業生を世に送り出しています。

看護学科は，平成5年に東北・北海道地区ではじめての国立4年制大学として設立されました。時代の要請に柔軟に対応できる知識・技術と豊かな人間性を備えた看護職者を養成し，すでに1,315人の卒業生を医療人及び専門的研究者として世に送り出しています。

医学部の学生は卒業後，地域医療の第一線をはじめとして，日本各地の様々な医療機関で，また国際的にも世界各地の研究機関で広く活躍しています。今後さらに地域に根ざし世界で活躍する医療人を育成するため，医学部は以下の「求める学生像」に記された資質を持っている人を受け入れます。

◆求める学生像（3つのC）

- Challenge** : 科学的研究心が強く、現代の保健医療が抱える諸問題の解決に自ら考え、粘り強い学習意欲を持って挑戦できる人
- Cooperation** : 医療人に求められる高度な倫理観と豊かな人間性を備えていることに加え、医療活動がチームで行われることをよく理解して共に働く人々と良好な人間関係を形成できる人
- Contribution** : 世界水準の医学看護学を背景に、高度な地域医療の実践を通じて人類の健康福祉に貢献する意欲をもつ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科および看護学科では一般選抜入学試験と推薦選抜入学試験を実施します。入学試験では、以下に示す医学科および看護学科のそれぞれのアドミッション・ポリシーに従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

医学科

「人間性豊かな、考える医師の養成」を建学の精神として、綿密なカリキュラムに基づく厳格な医学教育が行われています。

ヒトゲノム解析など、めざましい先端的な医学研究の進歩を柔軟に医学教育に反映させたカリキュラムの編成により、最新の医学知識を学ぶことができます。達成可能な現実的な目標を設定し、問題解決型の医師の養成をめざした臨床医学教育を実施するためのカリキュラムがきめ細かく編成されています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で臨床医として医療活動に従事していますが、医学研究者として大学・研究所等で活躍している人も数多くいます。

医学教育に加えて、附属病院や地域の病院における診療を通じた地域医療への貢献とともに、様々な国際的な医学研究への参画と民間との共同研究も行われています。

このように医学科では、最先端の医療・医学研究の実践を背景に地域に根ざして世界にはばたく医師・医学者の育成を行っています。このような医学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち、科学的探求心が強く、旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、柔軟性に富み、倫理性の高い人
- ・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
- ・地域医療を含め、幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査では、国語、英語、数学、理科（物理・化学・生物から2科目を選択）を課し、本学科の修学に必要なより高い学力を検査します。面接では論理的な思考能力とともに医療人としての適性を総合的に評価します。地域枠については、面接及び「志望の動機」において、山形県内で医療に従事する強い意志も評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに医療人としての適性を総合的に評価します。

推薦入試Ⅱ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに医療人としての適性を総合的に評価します。

看護学科

生命の尊厳と人権の擁護を重んずる倫理観を基盤とし、誠実で豊かな人間性を備えた看護師・保健師・助産師を育成する看護学教育を行っています。

保健・医療・福祉に関わる人々と協働して、根拠に基づく安全な看護を提供できる人材を育成するためのカリキュラムを編成しています。

社会と人々の生活の変化を敏感に捉え、看護の役割・機能・責務について必要に応じた変革を実行できる看護職者を育成することを教育理念としています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で看護師、保健師、あるいは助産師として活躍しています。また、教育研究者として大学で活躍している人や海外で活動する人も増加しています。

このように看護学科では、社会からの多様なニーズに応え、人々の健康と福祉の向上に貢献できる看護職・看護教育研究者の育成を行っています。このような看護学科の求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・人々の健康と福祉に強い関心を持ち、科学的に迫る姿勢と持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、誠実で高い倫理性を持つ人
- ・他人への思いやりと円滑な人間関係を形成できるコミュニケーション能力を持つ人
- ・看護職として保健・医療・福祉に貢献することへの強い意志を持つ人

◆入学選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査では、英語を課し、本学科の修学に必要なより高い学力を検査します。面接では論理的な思考能力とともに看護職としての適性を総合的に評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに看護職としての適性を総合的に評価します。

推薦入試Ⅰ

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行います。個別学力検査の小論文では、看護学に対する適正をみるとともに、記述力・洞察力や表現力等の基礎的な能力を評価します。面接では論理的な思考能力とともに看護職としての適性を総合的に評価します。

工 学 部

山形大学工学部は、人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし、現在でも高分子（プラスチック）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは、昼間コースに高分子・有機材料工学科、化学・バイオ工学科、情報・エレクトロニクス学科、機械システム工学科、建築・デザイン学科、フレックスコースにシステム創成工学科の併せて6学科及び工業数学・物理学担当の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して、21世紀の社会と産業の変革に呼応して、「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化、産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では、これらの目標達成のため、上記5学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと、今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として、夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で、米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実

施等、大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

- C h a l l e n g e** : 自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲にあふれ、身のまわりのいろいろなことに好奇心をもって新しいものを創ること、工夫することに情熱を持って取り組める人
- C o o p e r a t i o n** : 他人への思いやりの心と健全な倫理観を持つ、社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断し行動できる人
- C o n t r i b u t i o n** : 広く社会に目を向け、工学を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

工学部は、このような入学者を幅広く受け入れるため、大学入試センター試験を1次試験とする一般入試（前期日程・後期日程）に加えて、AO入試Ⅰ（フレックスコース）、AO入試Ⅱ（昼間コース）、AO入試Ⅲ（センター試験を課す）、推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱにより選抜を実施します。

以上のような観点から、各学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

〔昼間コース〕

高分子・有機材料工学科

高分子・有機材料は、金属、セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており、電子・情報産業から、エネルギー、環境、自動車、航空、宇宙産業、さらには医療・福祉産業に至るまで、我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では、健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて、高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し、技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し、それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者、技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・高分子・有機材料，自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲と吸収力にあふれ，何事に対しても好奇心と情熱をもってチャレンジできる人
- ・コミュニケーション能力を有し，他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち，社会の中で協調性を保ちながら，自ら考え決断・行動し，成長し続けられる人
- ・広く社会に目を向け，高分子・有機材料工学の技術を通して，強く社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では、個別学力検査として、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1科目選択）を課し、基礎概念、計算、論述の過程及び答え方等について総合的に評価し、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点との合計により可否を判定します。

後期日程試験では、個別学力検査を課さず、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点により可否を判定します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（物理（物理基礎、物理）又は化学（化学基礎、化学）から1科目を選択）、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

推薦入試Ⅱ

高分子や有機材料に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、学習意欲、表現力を基準に評価し、大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科5科目）の成績との合計により可否を判定します。

AO入試Ⅲ

第1次選抜では、高分子や有機材料に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、学習意欲、表現力を基準に評価し、可否を判定します。大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科4科目）の得点合計が概ね合格基準点以上の者が最終合格者となります。

私費外国人留学生入試

個別学力検査を課さず、当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し、可否を判定します。

化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は、環境、エネルギー、食糧、医療に代表される21世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために、その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い、様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 勉学や科学技術に対する意欲にあふれ、何事にも積極的に取り組める人
- ・ 社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
- ・ 応用化学、化学工学、バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では、個別学力検査として、理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目選択）を課し、基礎概念、計算、論述の過程及び答え方等について総合的に評価し、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点との合計により可否を判定します。

後期日程試験では、個別学力検査を課さず、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点により可否を判定します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A）、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）から1科目を選択、及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

AO入試Ⅲ

第1次選抜では、化学・バイオ工学に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、学習意欲、基礎学力、表現力を基準に評価し、可否を判定します。大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科4科目）の得点合計が概ね合格基準点以上の者が最終合格者となります。

私費外国人留学生入試

個別学力検査を課さず、当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し、可否を判定します。

情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は、“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワークなどのソフトウェア分野と、エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として、希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに、実践的な実習・演習を通じて、社会のニーズに応えられる専門知識を習得し、新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・情報科学や電気・電子通信工学を通して、次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し、学習意欲と協調性がある人
- ・テクノロジーの基礎となる数学、物理、英語を積極的に学習できる人
- ・新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では、個別学力検査として、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1科目選択）を課し、基礎概念、計算、論述の過程及び答え方等について総合的に評価し、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点との合計により可否を判定します。

後期日程試験では、個別学力検査を課さず、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点により可否を判定します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B）、及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

推薦入試Ⅱ

科学技術に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、学習意欲、表現力を基準に評価し、大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科5科目）の成績との合計により可否を判定します。

AO入試Ⅲ

第1次選抜では、科学技術に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、学習意欲、基礎学力、表現力を基準に評価し、可否を判定します。大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科4科目）の得点合計が概ね合格基準点以上の者が最終合格者となります。

私費外国人留学生入試

個別学力検査を課さず、当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し、可否を判定します。

機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の知識を基礎として、技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、独創性と創造性に富んだ技術開発を通して、地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車、航空機、船舶、精密機器、ロボット、エネルギー変換などの従来からの機械工学の基幹分野はもとより、生体工学、医用工学、知能工学などを含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・新しいことに挑戦し、地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
- ・技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、何をなすべきかを真剣に考える人
- ・ものづくりが好きで機械に興味があり、機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために、高等学校等の教育課程においては数学、物理、化学、外国語（英語）等の基礎学力を十分に身につけていることを求めます。また、コミュニケーション能力の向上や将来社会人として視野を広げていくために、国語、地理歴史・公民等の教科・科目の習得も同時に重要です。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では、個別学力検査として、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1科目選択）を課し、基礎概念、計算、論述の過程及び答え方等について総合的に評価し、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点との合計により可否を判定します。

後期日程試験では、個別学力検査を課さず、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点により可否を判定します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

推薦入試Ⅱ

機械工学に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、問題意識と学習意欲、基礎学力、コミュニケーション能力を基準に評価し、大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科5科目）の成績との合計により可否を判定します。

AO入試Ⅲ

第1次選抜では、機械工学に関する興味等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、志望動機、問題意識と学習意欲、基礎学力、コミュニケーション能力を基準に評価し、可否を判定します。大学入試センター試験（数学、理科、外国語の3教科4科目）の得点合計が概ね合格基準点以上の者が最終合格者となります。

私費外国人留学生入試

個別学力検査を課さず、当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し、可否を判定します。

建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は、建築・デザインに関する分野における活動を通して、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わり、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。

建築設計、都市計画、建築史、構造工学、建築環境、工業デザインなど、建築・デザインに関わる学問分野を中心に、他

の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。
建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
- ・ 積極的に地域と関わり、地域社会の発展に貢献できる人
- ・ 世界を見据えつつ、地域で実践する意欲のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、地学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では、建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力、論理的思考力、観察力を評価し、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科6科目又は5教科7科目）の成績との合計により可否を判定します。

後期日程試験では、個別学力検査を課さず、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科6科目又は5教科7科目）の得点により可否を判定します。

推薦入試 I

大学入試センター試験を課さず、建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力、論理的思考力、観察力を評価し、調査書に基づく調査書評価点との得点の合計により可否を判定します。

私費外国人留学生入試

個別学力検査を課さず、当該年度の日本留学試験の成績（日本語の「記述」の得点も含みます。）及び出願書類の審査結果を総合的に評価し、可否を判定します。

AO 入試 II（山形県内高校生等対象）

工学部昼間コースにおいて、山形県内の高校生等を対象とした AO 入試を実施します。

◆求める学生像

- ・ 高度な知識と技術を習得することを目的に入学し、山形県内の企業に就職することを強く望む人で、地域産業に貢献する意欲のある人

◆入学者選抜方法

第1次選抜では、レポートにより、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価し、調査書、志望理由書及び自己 PR 書と併せて総合して可否を判定します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）を行い、受験者の意欲、積極性、基礎学力を基準に評価し、可否を判定します。

〔フレックスコース〕

システム創成工学科

システム創成工学科は、1年次から4年次まで米沢キャンパスで講義、実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は、工学の基礎（数学、物理、化学、機械工学の基礎）を学んだ上で、1年次後期に決定し、2年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していく教育カリキュラムとなっています。また、システム創成工学科では、一人一人の学生が、基礎学力や専門知識をうまく活用し、社会人として活躍していくうえで必要となる基礎的能力を養成するために、地元自治体や他大学と連携し、大学のキャンパス内では収まらない授業も展開しています。

さらに、このフレックスコースには下記のような特長があります。

- (1) 入学料・授業料が昼間コースの半額
- (2) 数学・物理などの基礎科目については少人数制教育を実施
- (3) 一部研究室では、1年次から審査を経てゼミに参加可能
- (4) 社会人の生涯学習の場としての機能も備え、夜間開講科目のみの履修でも4年間で卒業可能

システム創成工学科の求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・最先端のものづくり産業で活躍することで、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・工学への強い興味を持ち、自己研鑽に励むことで、自らを高めようという意欲のある人
- ・柔軟な広い視野を備え、新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
- ・将来、ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
- ・数学・物理・語学などの基礎学力をバランス良く持っている人
- ・学業以外の部活動やボランティア活動などに積極的に参加している人
- ・バイタリティにあふれ、科学技術の分野で夢や希望を持っている人

◆入学選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また、コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では、個別学力検査として、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から1科目選択）を課し、基礎概念、計算、論述の過程及び答え方等について総合的に評価し、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点との合計及び面接（数理分野に対する意欲、関心の度合を評価）の結果を合わせて総合的に合否を判定します。

後期日程試験では、個別学力検査を課さず、大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の5教科7科目）の得点により合否を判定します。

推薦入試Ⅰ

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ））、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価し、その成績により合否を判定します。

社会人入試

面接（口頭試問を含みます。）により基礎学力（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）及び英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ））、志望動機、学習意欲、表現力を評価し、その成績により合否を判定します。

AO 入試 I

第1次選抜は書類選抜試験を実施し、第2次選抜では志願者の居住地（日本国内ならばどこでも）を本学部面接担当者が訪問して行う面接試験（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により評価し、これらを総合して可否を判定します。

第2次選抜では、志願者本人に1時間以上の時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、数学、理科（物理または化学から1科目選択）及び英語（出題範囲：数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A）、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、英語（英文の読解力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ）））に関する基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価し、可否を判定します。

農学部

農学部は、日本有数の穀倉地帯であるとともに、豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、農学、生命科学、フィールドサイエンスなどを学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センターがあり、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、活発な教育・研究を進めています。また、大学院修士課程や博士課程に進学して、学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

- Challenge** : 知的好奇心が旺盛で、自ら課題を発見し、その解決に向かって行動できる人
- Cooperation** : 自然と人間を愛し、人との出会いを通じて学びあいたいと思っている人
- Contribution** : 人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題などに関心を持ち、地域社会及び世界に貢献したいと思っている人

◆入学者選抜の基本方針

農学部は、1学科6コース制を導入しています。このため、入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は、推薦入試、一般入試（前期日程・後期日程）があります。

以上のような観点から、食料生命環境学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

食料生命環境学科

食料生命環境学科は、1年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して、2年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い、6コースのいずれかに配属となります。2年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。各コースの概要は、次のとおりです。

【安全農産物生産学コース】

地域や開発途上国で安全な農畜産物の安定生産を実現させるため、持続的で循環型の環境保全型農業生産の科学的理論や方法などについて、フィールドワークを取り入れた教育を行います。

【食農環境マネジメント学コース】

食料、農業、農村、環境の維持・発展を目的に、農業経営やコミュニティビジネスの発展方策や地域活性化手法、食の安全を担保するフードシステムや循環型社会システム構築に関する理論や方策などの教育を行います。

【食品・応用生命科学コース】

生命科学の基礎とバイオテクノロジーを用い、食品と健康、高等動・植物や微生物の機能解明・開発、食品・医薬品・環境産業等への展開利用、バイオマスやバイオエネルギーの高度な利用と応用などの教育を行います。

【植物機能開発学コース】

植物を対象に、遺伝資源学、植物制御化学、ゲノム科学に基づいて、その機能を遺伝子、タンパク質、代謝物質等のミクロな面から解析する方法、植物資源の高度な利用、ストレス耐性植物の開発等のマクロな面への応用などの教育を行います。

【森林科学コース】

循環型社会構築のため、森林の高度な利活用により、生物多様性の保全と持続的資源利用を推進し、低炭素社会の実現を目指すなど、様々な地球環境問題に関して、講義や多彩なフィールドワークを取り入れた教育を行います。

【水土環境科学コース】

自然と調和する農山村整備を実現するため、土台となる土と水の科学技術を環境問題との関わりで広い視野から学ぶとともに、農地を造り・水を確保し・維持・管理する一連の技術を修得するための実践的な教育を行います。

◆求める学生像

- ・自然に学び、自然について深く考えることのできる人
- ・人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題などの解決、生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち、行動できる人
- ・論理的に思考し、表現できる人
- ・基礎的な学力を幅広く身につけている人
- ・数学、理科等の自然科学に関しては、基礎的な知識を修得するだけでなく、それを応用できる人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程・後期日程）

基礎的な学力を幅広く身につけることを重視していますが、特に自然科学（数学や理科）に関しては、それを応用できるかについても評価します。

前期試験では、自然科学の応用力を重視し、大学入試センター試験に加え、個別学力検査（数学・理科（化学）・理科（生物）のいずれか1教科）を課します。

後期試験では、総合的な基礎学力を重視し、大学入試センター試験のみを課します。

推薦入試Ⅰ

小論文試験では、問題文を理解した上で論理的に思考し、自分の考えを適切に記述できるかを基準に評価します。面接試験では、質問の意図をくみ取り、自分の考えを適切に表現できるかを基準に評価します。また、出願時に提出された志望理由書や内申書をもとに、就学意欲や農学に対する関心等についても評価します。

〔 入 試 情 報 〕

■山形大学ホームページ 「入試案内」又は「受験生の方」

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>



■携帯電話サイト

<http://daigakujc.jp/yamagata-u/>

本サイトでメールマガジン登録をしていただいた方には、
山形大学の入試情報等をお送りします。



◎お問い合わせ

内 容	入 試 担 当	住 所	電 話
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	人 文 学 部 入 試 担 当		(023)628-4207
地域教育文化学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023)628-4310
理学部に関すること	理 学 部 入 試 担 当		(023)628-4710
医学部に関すること	医 学 部 入 試 担 当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	(023)628-5049
工学部に関すること	工 学 部 入 試 担 当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農 学 部 学 務 担 当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

注) お問い合わせは、平日の8:30～17:00(土・日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く。)の
時間帯でお願いします。

発行年月日：平成28年6月30日

作 成：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL (023)628-4141

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。